

第 81 回 横浜市廃棄物減量化・資源化等推進審議会

日時 令和 6 年 10 月 21 日(月)
15 時 00 分から 17 時 00 分まで
会場 横浜市役所 18 階会議室
※オンライン併用

次 第

1 開会

2 議題・報告事項

- (1) プラスチック分別拡大にかかる取組状況及び 2030 年度の温室効果ガス
排出量 50%削減に向けた廃棄物部門の取組について 【資料 1】
- (2) 事業系食品ロス削減の取組について 【資料 2】
- (3) 記者発表資料 【資料 3】

3 閉会

横浜市廃棄物減量化・資源化等推進審議会委員名簿

(五十音順、敬称略)

令和6年10月21日現在

氏名	役職
おおいし みなこ 大石 美奈子	日本消費生活アドバイザー・ コンサルタント・相談員協会
おおさこ まさ ひろ 大迫 政 浩	国立環境研究所 フェロー
おおもり のぞむ 大森 望	神奈川県弁護士会 弁護士
お の だ ひろし 小野田 弘士	早稲田大学理工学術院大学院 環境・エネルギー研究科 教授
さきた ゆうこ 崎田 裕子	ジャーナリスト・環境カウンセラー
さとう あけみ 佐藤 明美	南区環境事業推進委員連絡協議会 副会長
しのき みきこ 篠木 幹子	中央大学 総合政策学部教授
はやし しげかつ 林 重克	横浜市町内会連合会 (旭区連合自治会町内会連絡協議会会長)
ほんだ ひろと 本多 寛人	消費生活推進員戸塚区副代表
ももい とみこ 桃井 富子	元港北区3R夢サポーター 会長
もり けんじ 森 健二	横浜商工会議所 専務理事
もり ともこ 森 朋子	東京都市大学環境学部環境経営システム学科 准教授
ー ※	日本チェーンストア協会

※日本チェーンストア協会にて後任を調整中。

プラスチック分別拡大にかかる取組状況 及び

2030年度の温室効果ガス排出量50%削減 に向けた廃棄物部門の取組について

- 1 プラスチック分別拡大にかかる啓発の取組状況
- 2 温室効果ガス排出量50%削減に向けた取組

1 プラスチック分別拡大にかかる啓発の取組状況

- 今回の分別変更は、G30以来の約20年ぶりの変更
- 分別変更を丁寧にお伝えし、御理解・御協力いただけるよう周知を実施
- 周知は、時代背景も踏まえ、様々な媒体・ツールを用いて行う

STEP 1

全世帯への基本的な周知

「リーフレットの全戸配布」「広報よこはま」

STEP 2

「関心度」×「年代」→ 市民への周知には様々な方法が必要

多様な媒体・方法での周知

時代に即した
周知として注力

場所・時間を選ばず
「分別に関心が薄い市民」や
「若年層」へ周知

デジタル
広告・広報

+

対面
地域での啓発

資源循環局
ならではの
強み

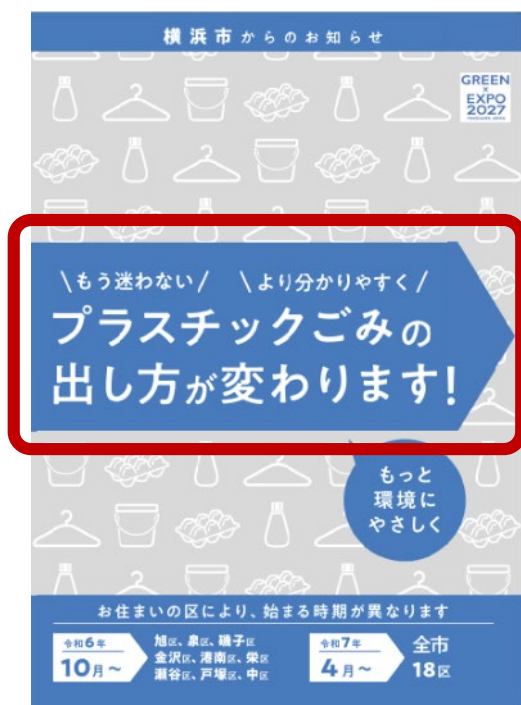
直接市民の方に
分別の内容も含めた
丁寧な周知

- 新しい分別「プラスチック資源」による収集を、先行9区で10月から開始
- 先行区での周知は、既に実施中。10月以降の分別状況を踏まえ、令和7年4月の全市展開に向けさらなる広報・啓発を実施予定

		R6.10月 先行9区開始		R7.4月 全市で開始	
		R6年 4月～9月	R6年 10月～12月	R7年 1月～3月	R7年 4月以降
STEP 1 基本的な周知	全世帯への基本的な周知	全戸配布 ○ 広報よこはま8月号	(先行区)	全戸配布 ○ 広報よこはま2月号	(後発区)
	デジタル 広告・広報	WEB・SNS広告 駅・車内デジタル広告 市HPでの周知の強化 市公式X・LINEでの周知		WEB・SNS広告 駅・車内デジタル広告	
	対面	(令和6年1月より順次) 住民説明会・店頭啓発・出前教室・イベントでの啓発			
STEP 2 多様な 媒体・方法での 周知		駅頭 (先行区) ○ 収集車実装(先行区) (音声テープ・パネル)	集積場所啓発	駅頭 (後発区) ○ 収集車実装(後発区) (音声テープ・パネル)	集積場所啓発

統一的なデザインで水平展開し、訴求効果を高める

全戸配布リーフレット



広報よこはま



ポスター



WEB広告



STEP 1

全世帯への基本的な周知

①「リーフレットの全戸配布」

- 市民の皆さまに、くまなく周知するために「**全戸配布**」を先行9区で実施
- 全戸配布にあたっては、「プラスチックの分別変更があることの周知」に加え、「ごみと資源物の分け方・出し方」の再周知を目的に、**2種類のリーフレットを配布**
- 先行区は7月19日から配布を開始し、概ね**配布完了**（後発9区での配布は、来年初頭より実施予定）

「プラ分別」 リーフレット



「ごみと資源物の 分け方・出し方」 リーフレット



STEP 1

全世帯への基本的な周知

②「広報よこはま」

- 広報よこはま 8月号 **市版 特集記事** を通じて、多くの市民に周知
- また、**区版**においても各区の特徴を踏まえた内容で発行

市版 8月号



区版（一部抜粋）



STEP 2

多様な媒体・方法での周知

デジタル 広告・広報

時代に即した
周知として注力

場所・時間を選ばず
「分別に関心が薄い市民」や
「若年層」へ周知

- 1 WEB・SNS広告
- 2 デジタルを活用した交通広告
- 3 横浜市ホームページでの周知
- 4 横浜市公式 X・LINE での周知

- 分別ルールの変更1か月前(9月・3月)から、先行9区に向けた広告を展開
- 「YouTube」「LINE」「Yahoo!」の**3つの媒体で広告展開**
(ごみの分別への関心の有無に関わらず、幅広いターゲットに訴求)
- **目標は、100万回** (「**広告動画 完全視聴**」「**市WEBサイトへのクリック**」の合算)

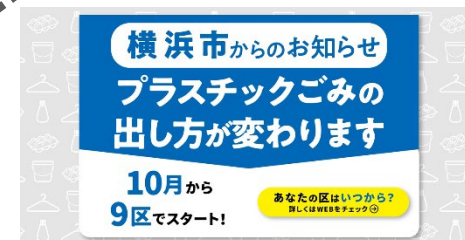
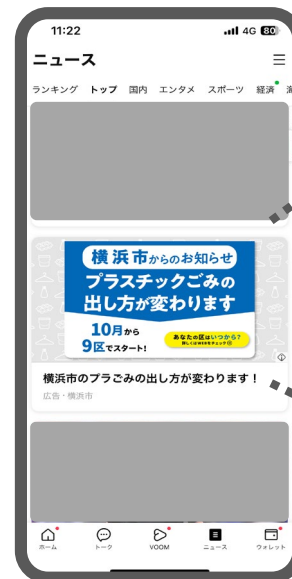
YouTube広告 (広告動画)



広告動画(15秒)
完全視聴

市WEBサイトへの
クリック

LINE広告・Yahoo! 広告



STEP 2

デジタル

デジタルを活用した交通広告

- 主に分別ルール変更1か月前(9月・3月)に広告掲出

駅サイネージ：JR桜木町駅改札前・MM線馬車道駅ホーム等にて実施

車内ビジョン：市営地下鉄・市営バスにて実施

- 動画を再生できるメリットを活かし、分別の内容までわかりやすく周知



市営地下鉄車内ビジョン



JR桜木町駅
改札サイネージ

参考



市営地下鉄
桜木町駅 掲出ポスター

STEP 2

多様な媒体・方法での周知

対面

(地域での啓発)

資源循環局
ならではの
強み

直接市民の方に
分別の内容も含めた
丁寧な周知

- 1 住民説明会の実施
- 2 駅頭キャンペーンの実施
- 3 収集車を活用した発信
- 4 集積場所での啓発
- 5 店頭啓発・出前教室
- 6 イベントでの啓発

- 自治会・町内会の会合に職員が出向いて行う説明に加え、地域からのニーズを踏まえ「説明会」を個別に開催し、プラスチック資源の**実物も活用した丁寧な説明**を実施
- 説明は、現場をよく知る**各収集事務所の職員が主に実施**



旭区で実施した説明会



実物を使った説明



広報動画「プラスチックごみの出し方が変わります！」

市HP（広報動画／スライド）

- **市内131駅で実施予定**（先行区57駅・後発区74駅）
- 分別変更開始前の9月、2・3月に、該当区の駅頭にて啓発を実施
- 本庁職員から現場職員まで、主に通勤・通学時間帯に**局一丸となって実施中**
- 駅頭用の「**専用チラシ**」を配布しながら、「**のぼり**」「**ビブス**」を通じて周知



駅での実施状況



駅頭専用
配布チラシ



(配布時は3つ折り)

● 「地域をくまなく走る広報車 → 収集車」を活用し、分別変更を発信

サイドパネル : 収集車の左右両面を活用。収集作業中・移動中に市民に訴求

音声メッセージ : 収集作業中に流れるメッセージで分別変更を周知



収集車に掲出しているサイドパネル

プラスチックごみの
出し方が変わります!

令和6年10月～

旭区 泉区 磯子区
金沢区 港南区 栄区
瀬谷区 戸塚区 中区

お住まいの区によって、実施時期が異なります

令和7年4月～

全市18区

ヨコハマプラス3

♪ 分別変更を知らせる音声メッセージも

- 「ごみ出しをする方が必ず立ち止まる場所 → 集積場所」において、分別変更を伝える「**集積場所専用チラシ**」を掲出（先行区）
- 分別拡大後、排出状況を踏まえて集積場所での啓発も個別に実施予定

集積場所 専用チラシ

分別拡大前から掲出



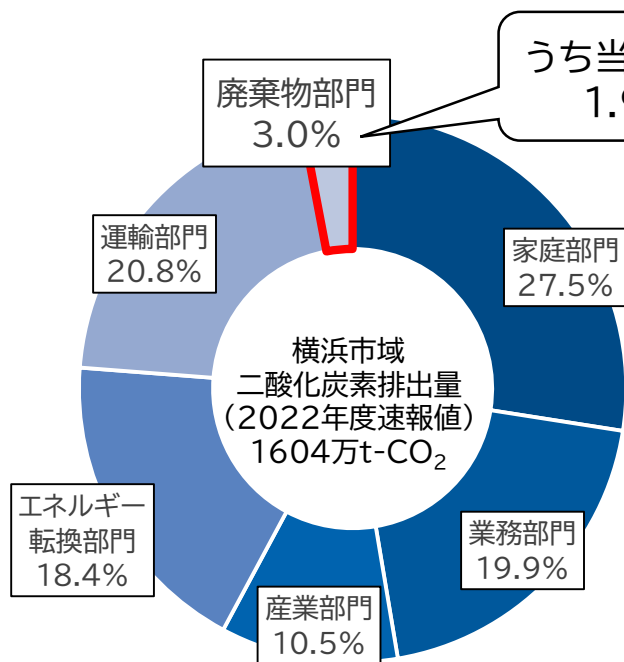
集積場所 啓発

分別拡大後に
適宜実施

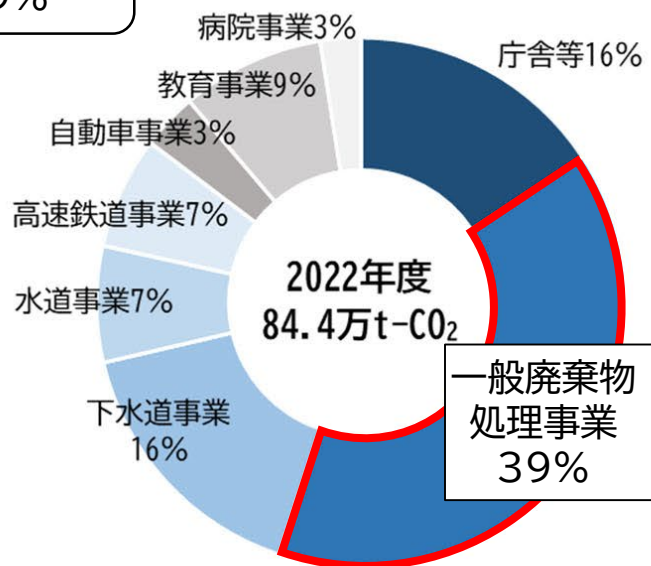


2 温室効果ガス排出量50%削減に向けた取組

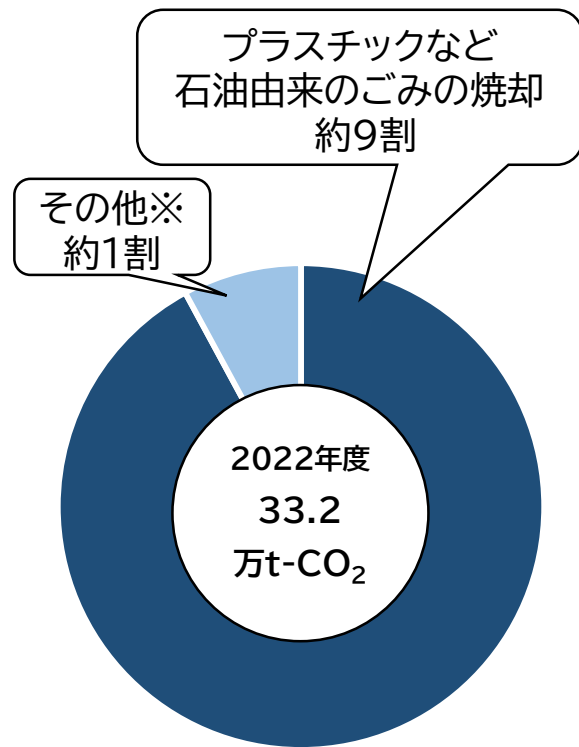
現状(市の現状)



横浜地域



市の事業



資源循環局の事業
(一般廃棄物処理事業)

※ その他：
収集車の排気ガス、施設の電気使用、
焼却に伴うN₂Oやメタン等排出

市の目標

2030年度までに50%削減(2013年度比)
2050年度までに実質排出ゼロ



当局の目標

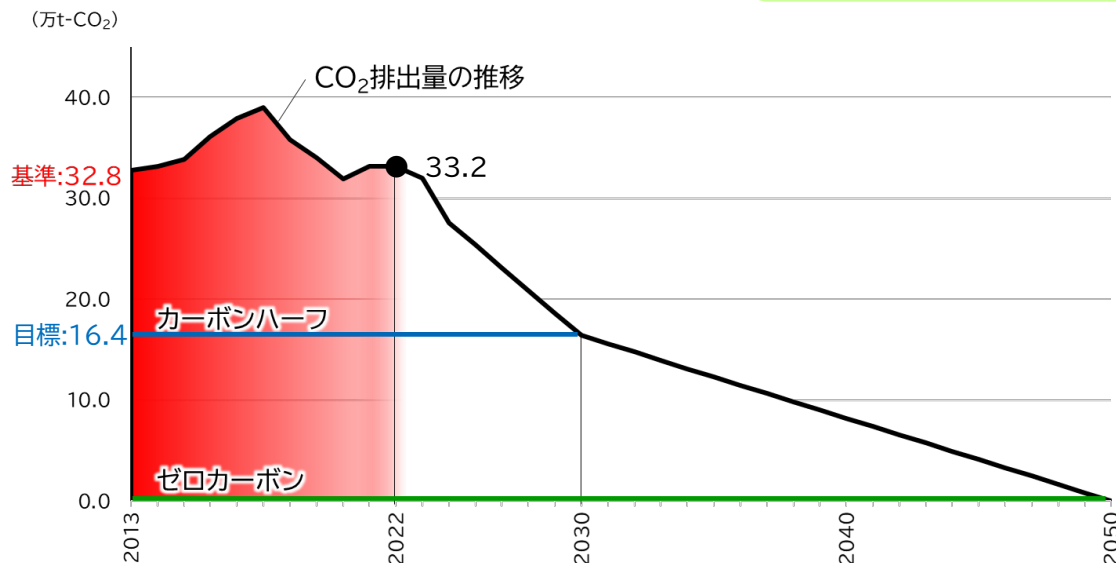
基準年度(2013年度)

32.8万t-CO₂



2030年度

目標16.4万t-CO₂



CO₂削減の目標達成に向けて
更なる取組が必要

現状(現状分析と対策の方向性)

2022年度



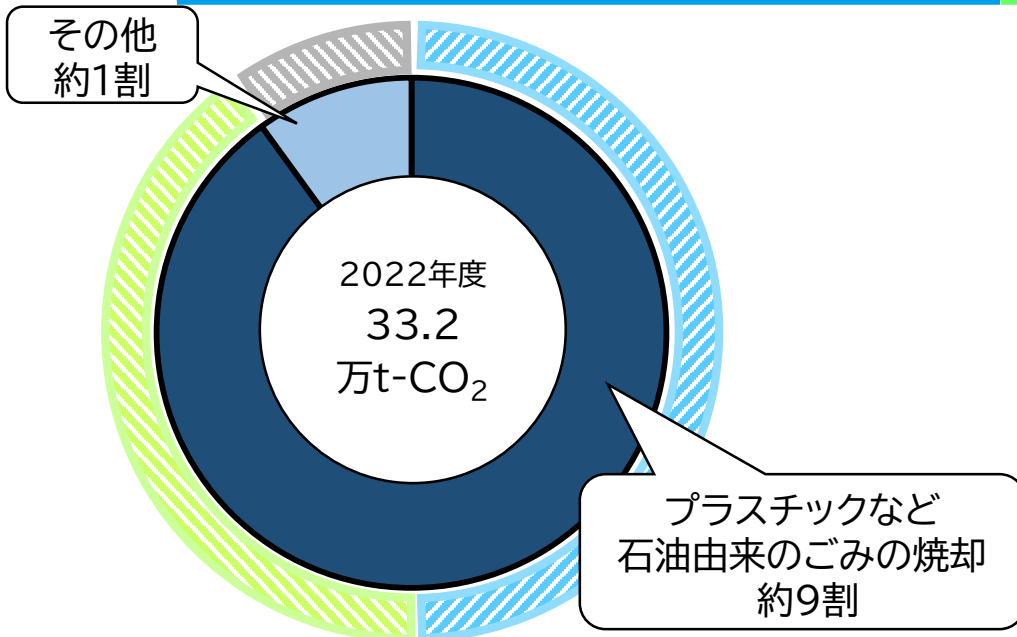
※ 各項目の排出量は、組成調査等に基づく推計値です

ルール違反への対策

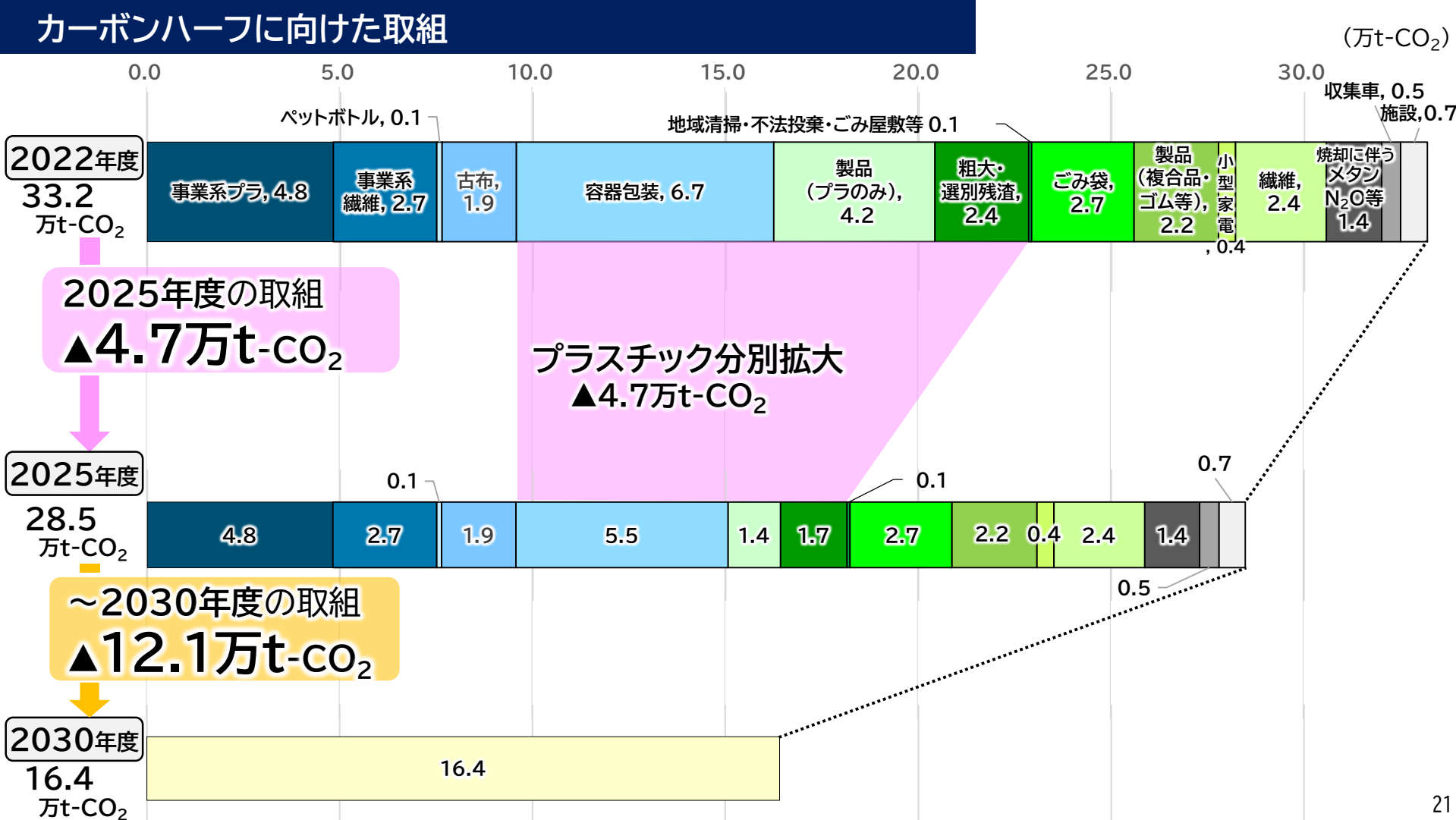
適正な分別となるよう
啓発・指導に取り組めます。

ルールどおりへの対策

技術の動向を踏まえ、リサイクル
する対象を増やします。



カーボンハーフに向けた取組



カーボンハーフに向けた取組(2025年度以降のアイディア)

2025年度

28.5
万t-CO₂



3Rの促進

- ・店頭回収、自主回収の促進
- ・地域にペットボトル回収機の設置&BtoB促進
- ・ワンウェイプラの削減
- ・代替素材普及の働きかけ
(バイオマスプラや木製外リ等)

ルール違反への対策

- ・適正排出への理解の促進
(取残しや開封調査等を通じた啓発)
- ・搬入物検査のデータを
活用した排出事業者への
指導・働きかけ
- ・一般廃棄物収集運搬許可
業者との連携による取組
- ・イベント等における
プラ分別ごみ箱の設置促進
- ・分別啓発の強化

ルールどおりへの対策

- ・リサイクル対象の拡大
- ・缶びんペット排出時の
袋のリサイクル
- ・地域清掃における
プラスチック類の分別回収
- ・小型家電回収拠点の拡充
- ・リサイクル技術等が整った
品目の分別拡大

その他への対策

- ・収集車のEV化
- ・収集車のバイオ燃料活用
- ・施設への省エネ機器の導入

エネルギーの創出や CO2の回収等

- ・CO2分離・回収、利用
(=CCU)設備の設置
- ・電力排出権取引
- ・太陽光発電施設の設置

3Rの促進

- ・店頭回収、自主回収の促進
- ・地域にペットボトル回収機の設置&BtoB促進
- ・ワンウェイプラの削減
- ・代替素材普及の働きかけ(バイオマスプラや木製カトラリー等)

●店頭回収、自主回収の促進



●地域にペットボトル回収機の設置 & BtoB促進



●ワンウェイプラの削減



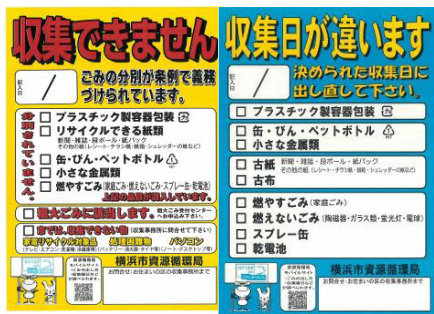
●代替素材普及の働きかけ(バイオマスプラや木製カトラリー等)



ルール違反への対策

- 適正排出への理解の促進
(取残しや開封調査等を通じた啓発)
- 搬入物検査のデータを
活用した排出事業者への
指導・働きかけ
- 一般廃棄物収集運搬許可
業者との連携による取組
- イベント等における
プラ分別ごみ箱の設置促進
- 分別啓発の強化

●適正排出への理解の促進
(取残しや開封調査等を通じた啓発)



●搬入物検査のデータを
活用した排出事業者への
指導・働きかけ



●イベント等におけるプラ分別ごみ箱の設置促進



●一般廃棄物収集運搬許可
業者との連携による取組



●分別啓発の強化



ルールどおりへの対策

- ・リサイクル対象の拡大
- ・缶びんペット排出時の袋のリサイクル
- ・地域清掃におけるプラスチック類の分別回収
- ・小型家電回収拠点の拡充
- ・リサイクル技術等が整った品目の分別拡大

●リサイクル対象の拡大



●缶びんペット排出時の袋のリサイクル



●小型家電回収拠点の拡充



●リサイクル技術等が整った品目の分別拡大



●地域清掃におけるプラスチック類の分別回収



その他への対策

- ・収集車のEV化
- ・収集車のバイオ燃料活用
- ・施設への省エネ機器の導入

●収集車のEV化



●収集車のバイオ燃料活用



廃天ぷら油で走る収集車

●施設への省エネ機器の導入



公共施設へのLED照明の導入促進



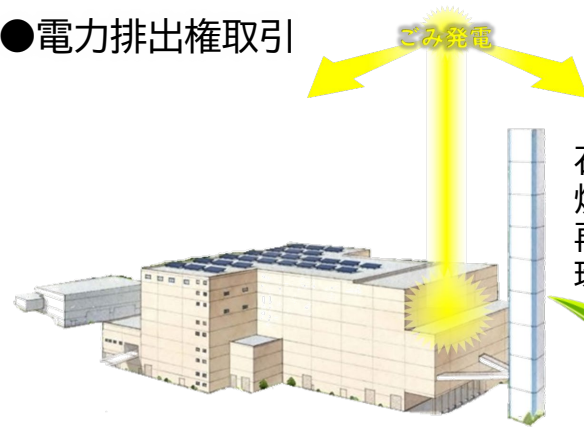
エネルギーの創出や CO2の回収等

- ・CO2分離・回収、利用
(=CCU)設備の設置
- ・電力排出権取引
- ・太陽光発電施設の設置

●CO2分離・回収、利用 (=CCU)設備の設置

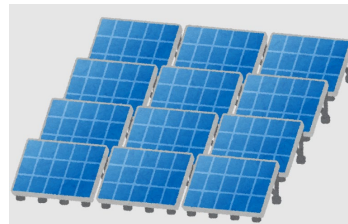


●電力排出権取引



石油由来でない生ごみ等の
焼却による発電は
再生可能エネルギーとして
環境価値を取引可能

●太陽光発電施設の設置



<これまでの活用例> 約14.7万トン-CO2(令和5年度)

全13事業所



市庁舎(R2～)



18区庁舎(R3～)



横浜AIRCABIN



横浜コスモワールド



横浜八景島



はまっこ電気(R3～)

再度溶かしてプラスチック製品にリサイクル
汚れや異物が多いごみには適さない



化学的に分解して原料としてリサイクル
汚れや異物が多いごみのリサイクルも可能

- ・油化:石油に戻す
- ・高炉原料化:鉄の製造時に必要な還元剤として用いる
- ・コークス炉化学原料化:高炉の還元剤、石油、燃焼(発電)用ガスに分解
- ・ガス化:水素や一酸化炭素に分解し、アンモニアや炭酸ガスに分解
⇒かゆみ止めや炭酸飲料等に活用



令和5年度は、マテリアルリサイクル80%、ケミカルリサイクル20%

令和6年度(予定)は、マテリアルリサイクル21%、ケミカルリサイクル79%

なお、リサイクル手法は日本容器包装リサイクル協会の入札により決定するため、本市で指定できません。

横浜市のリサイクルの実績推移

年度	収集量	資源化量		資源化方法内訳
			うち市町村 独自処理分	
06(予定)	50,998			ケミカル:79% マテリアル: 21%
05	50,276	46,555	(517)	ケミカル:20% マテリアル: 80%
04	52,176	48,276	(497)	ケミカル:66% マテリアル: 34%
03	54,038	50,093	(517)	ケミカル:67% マテリアル: 33%
02	54,908	51,129	(513)	ケミカル:73% マテリアル: 27%

事業系食品ロス削減の取組について

1 事業系食品ロスの現状（国データ）

2 本市における事業系食品ロス削減の取組

- ① 食べきり協力店
- ② 食品ロス削減SDGsロッカーの設置
- ③ 食の3Rきら星活動賞

3 事業系食品ロス削減の取組における方向性

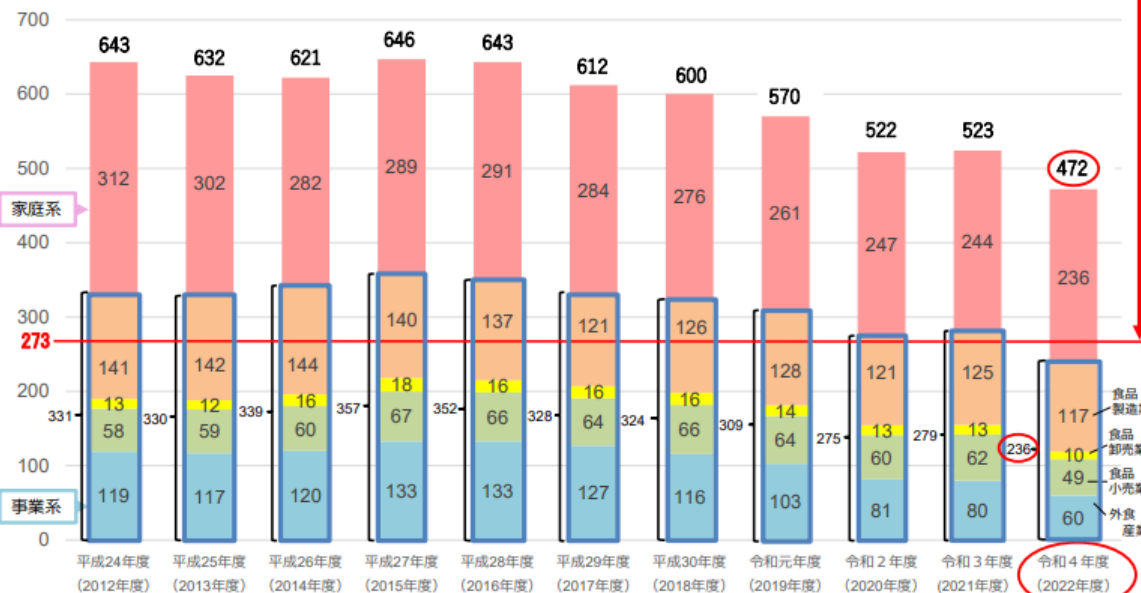
1 事業系食品ロスの現状（国データ）

食品ロス量の推移（平成24～令和4年度）

令和4年度食品ロス量は472万トン、うち事業系は236万トン。

2030年度事業系食品ロス量
削減目標
(273万トン)

(単位：万トン)



事業系食品ロスの発生量推計は令和4年度、236万t。
8年前倒しで目標273万tを達成。



国は今年度末までに新たな目標値を設定する見込み

国の新たな目標を踏まえて今後の取組を検討

1 事業系食品ロスの現状（国データ、4業種別）

		食品製造業	食品小売業	外食産業	食品卸売業
発生量の業種別割合	食品廃棄物 （不可食部も含む）	86.3 %	6.1 %	6.5 %	1.1 %
	食品ロス （可食部のみ）	49.6 %	20.8 %	25.4 %	4.2 %
業種別の食品廃棄物発生量の内訳	食品ロスの発生割合	8.9 %	52.0 %	60.7 %	58.6 %
	再生利用等実施率	97 %	64 %	50 %	74 %
	多量発生事業者による発生割合	99 %	89 %	43 %	59 %

多量発生事業者 … 前年度の食品廃棄物等の発生量が100トン以上の食品関連事業者。
 年度ごとに国に実績報告を行う。（この実績報告をもとに国が発生量等を推計）

- 1 事業系食品ロスの現状（国データ）
- 2 本市における事業系食品ロス削減の取組
 - ① 食べきり協力店
 - ② 食品ロス削減SDGsロッカーの設置
 - ③ 食の3Rきら星活動賞
- 3 事業系食品ロス削減の取組における方向性

2① 食べきり協力店

「食べきり協力店」とは

外食時の食品ロス削減に向けて、横浜市内で営業する飲食店、宿泊施設等にご協力をいただき、食べ残し等の削減に取り組んでいただける飲食店等を「食べきり協力店」として登録

取組項目を、1つ以上実践する店舗を登録



小盛りメニュー等の導入



食べ残しを減らすための呼びかけ実践



持ち帰り希望者への対応



ポスター等の掲示による、食べ残し削減に向けた啓発活動の実施



上記以外の食べ残しを減らすための工夫

市ウェブサイトで紹介



横浜市の「食べきり協力店」では、食品ロス削減のため「小盛りメニュー」や「小皿の提供」、「持ち帰り」など、お客さまの要望に応じて対応しています。いつもの外食でも、少しの気づかいて「食品ロス削減」につながります。

飲食店でできる「食品ロス削減」があります。

～Food Loss Reduction Partnership～

横浜市資源循環局

デザイン制作：横浜デジタルアーツ専門学校

平成24年
事業開始開始

984店舗登録中
(R6.3末)

- 1 事業系食品ロスの現状（国データ）
- 2 本市における事業系食品ロス削減の取組
 - ① 食べきり協力店
 - ② 食品ロス削減SDGsロッカーの設置
 - ③ 食の3Rきら星活動賞
- 3 事業系食品ロス削減取組の課題

2② 食品ロス削減SDGsロッカーの設置

食品ロス削減SDGsロッカーとは…

コインロッカー型の自動販売機で、店舗で売れ残った消費期限間近の食品を販売。食ロス削減を目指す取組。

設置の経緯

- ・令和5年3月 市営地下鉄関内駅構内にSDGsを啓発するSDGsステーション横浜関内を開設
- ・市民の皆様が身近にSDGsに取り組んでいただける分野として食品ロスに着目し検討
- ・令和6年1月 事業者からの提案を受け、食品ロス削減SDGsロッカーを設置。パンの販売を開始。



2② 食品ロス削減SDGsロッカーの設置

設置場所	廃棄物削減量	ロッカー扉数
市営地下鉄関内駅構内(中区)	1.2トン／年	21
横浜銀行アイスアリーナ(神奈川区)	1.4トン／年	9
みなとみらい線馬車道駅(中区)	1.5トン／年	18



利用者の声

「パンを安く購入でき、かつ、食品ロス削減に貢献できる良い取組」
「専門店のパンが帰り道に購入でき、SDGsにもつながるよい取組」

事業者様の声

「まだ食べられる食品の廃棄の削減できた」
「お店の知名度が上がり、来店者が2割程度増加」
「ロッカーの新たな活用方法として可能性を感じた」

インターネットメディアを中心に61のメディアに取り上げられるなど、
好評をいただいている（9月末時点）

2② 食品ロス削減SDGsロッカーの設置

7月から市内全域に取組を拡大し、公募によるマッチングを開始

脱炭素・GREEN×EXPO推進局SDGs未来都市推進課・資源循環局事業系廃棄物対策課・ヨコハマSDGsデザインセンター

(1) 場所提供者の公募

市内でロッカー設置場所を募集します。

(2) 条件等のヒアリング

応募者に対し、設置や入荷の条件等についてヒアリングします。

(3) 連携事業者の公募

場所提供者の提示する条件に合わせ、連携事業者（ロッカー設置者・食品販売者）を募集します。

(4) 事業者間の対話

場所提供者と連携事業者で対話します。

(5) 連携の成立

場所提供者と連携事業者（ロッカー設置者・食品販売者）がマッチングすれば、事業開始です。

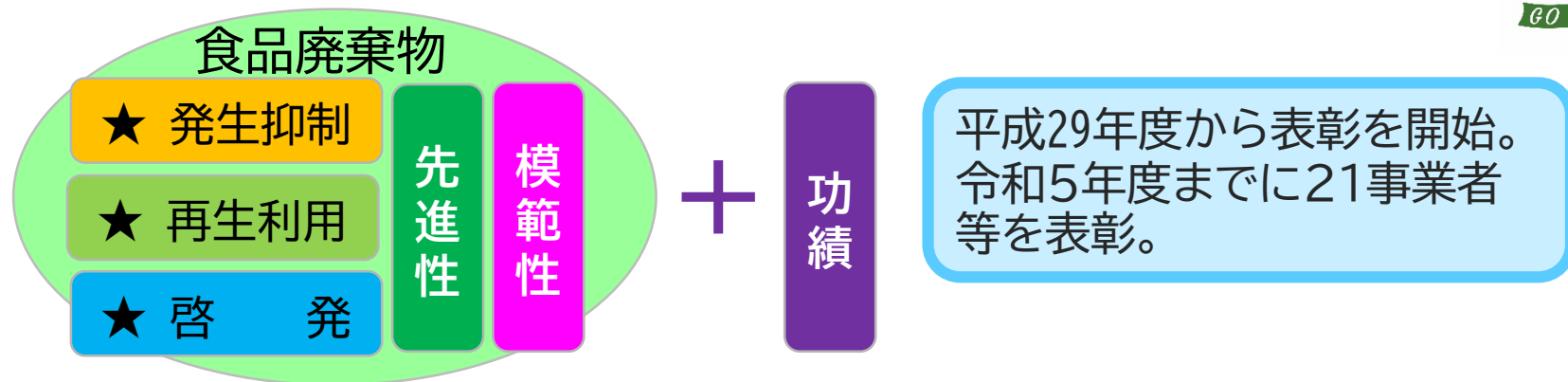
令和6年7月3日～
設置場所の募集開始

- ・パシフィコ横浜
地下駐車場
- ・YCAT
第1ロビー内
- ・シーサイドライン
新杉田駅、金沢八景駅
- ・聖マリアンナ医科大学
横浜市西部病院

8月29日～
連携事業者の
募集開始

- 1 事業系食品ロスの現状（国データ）
- 2 本市における事業系食品ロス削減の取組
 - ① 食べきり協力店
 - ② 食品ロス削減SDGsロッカーの設置
 - ③ 食の3Rきら星活動賞
- 3 事業系食品ロス削減の取組における方向性

2③ 食の3Rきら星活動賞



横浜市食の3Rきら星活動賞表彰懇談会の意見を踏まえ、次のいずれかに該当し、表彰目的に合致する事業者等を選考。

- ① 自らの事業活動によって生ずる食品廃棄物を独自の方法などで発生抑制を行っているもの。
- ② 自らの事業活動によって生じた食品廃棄物を飼料や堆肥として再生利用する取組を行っているもの。または、食品廃棄物の再生利用に顕著な功績を挙げ、他の模範となるもの。
- ③ 食品ロスの削減に向けた普及活動を行っているもの。
- ④ 上記各号に準ずる先進的で他の模範となる取組を行っているもの。

食の3 Rきら星活動賞（令和6年度表彰）

10月8日 選考委員会を開催し、令和6年度受賞者を決定

10月21日 令和6年度受賞者について記者発表



麒麟麦酒株式会社
氷結チーム × J A横浜
果樹部

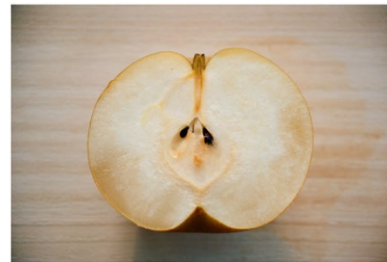


株式会社アルファロックスシステム

食の3Rきら星活動賞（令和6年度表彰）

麒麟ビール 氷結チーム×JA横浜 果樹部の取組

氷結mottainaiプロジェクト「浜なし」



みつ症…熟しすぎて果肉の一部が半透明になり、食感が失われる。

廃棄量 年間 約19t（約6万個）

浜なし約3万4千個分※



廃棄量の $\frac{1}{2}$ 以上を有効利用

※販売本数 約589万本（8/25現在）商品の使用果汁量から算出した、果実量の概算

2③ 食の3Rきら星活動賞（令和6年度表彰）

アルファロッカーシステムの取組

食品ロス削減SDGsロッカー



1980年頃 農家の軒先販売用のロッカー

店舗の営業時間外も販売できるロッカーが食品ロス削減に貢献できる⇒食品ロス削減SDGsロッカーの開発

SDGsステーション関内横浜を皮切りに20店以上のパン屋に訪問し交渉、現在3カ所に設置中。4店舗のパン屋が商品を販売中。8月までに約7.4トンのパンを販売。

9月末までに61のメディアで取り上げられるなど、注目度も高い取組⇒全市展開のきっかけとなる



- 1 事業系食品ロスの現状（国データ）
- 2 本市における事業系食品ロス削減の取組
 - ① 食べきり協力店
 - ② 食品ロス削減SDGsロッカーの設置
 - ③ 食の3Rきら星活動賞
- 3 事業系食品ロス削減の取組における方向性

3 事業系食品ロス削減の取組における方向性

食品ロス削減
SDGsロッカー

食べきり協力店

		食品製造業	食品小売業	外食産業	食品卸売業
発生量の 業種別割合	食品廃棄物 (不可食部も含む)	② 発生量 大 優先順位高 86.3 %	6.1 %	6.5 %	① 発生量 小 優先順位低 1.1 %
	食品ロス (可食部のみ)	49.6 %	20.8 %	25.4 %	4.2 %
業種別の 食品廃棄物 発生量の内訳	食品ロスの発生割合	② 取組状況 良好 8.9 %	③ 改善の 余地あり 52.0 %	③ 改善の 余地あり 60.7 %	食品製造業・ 食品小売業と 関連した取組
	再生利用等実施率	97 %	64 %	50 %	
	多量発生事業者による 発生割合	99 %	89 %	43 %	
		④ 多量発生事業者への働きかけで 効率的・効果的な対策が可能			対象となる 事業所が多数

記者発表資料

資料3

資源循環局関連の記者発表資料一覧（前回の審議会以降）

No.	発表日	件名	頁
1	4月15日	ごみ焼却工場の排ガス中の二酸化炭素有効利用のアイデア及び利用の提案を民間事業者の皆さまから募集します	P1
2	4月16日	ロッカー型自販機でパンを購入して、SDGsに貢献しませんか？ ～横浜市スポーツ協会「横浜銀行アイスアリーナ」にフードロス・食品ロス削減ロッカー型自販機を設置します～	P2
3	4月25日	海洋プラスチックごみ削減のため近隣8市が連携し、清掃活動を実施します	P4
4	4月26日	横浜市の公共施設等に対するネーミングライツについてサウンディング型市場調査の実施結果を公表します	P6
5	5月20日	横浜市と小田急電鉄株式会社がごみ収集のサポートシステムを活用した実証実験を実施します	P10
6	5月31日	アンケートに答えるとベ이스ターズグッズが当たる！！ 横浜DeNAベ이스ターズ選手が呼びかける環境行動 ～「今」できることから始めよう！～	P11
7	5月31日	横浜市、JAL、ダイエーが連携し、家庭から出る廃食油の本格回収を開始します！	P13
8	6月17日	「GREEN×EXPO 2027」で装飾したラッピングバス・ラッピング収集車が完成！ ～市内で各100 台が走行します～	P15
9	7月2日	鶴見資源化センターにおける転落事故について	P18
10	7月3日	SDGs達成・CO2排出削減に貢献する「食品ロス削減SDGsロッカー」を設置しませんか？ ～横浜市はロッカーの設置場所提供者、設置者及び食品販売者のマッチングを開始します～	P19
11	7月12日	資源循環局金沢工場のネーミングライツスポンサーを公募します	P21
12	7月19日	令和6年度「一般廃棄物収集運搬業優良事業者」を認定しました！	P23
13	8月19日	資源循環局×横浜エクセレンス きれいなまちづくりに関する協定を締結します	P24
14	8月23日	令和6年能登半島地震に伴い発生した災害廃棄物の広域処理における協力について	P27
15	8月29日	SDGs達成・CO2排出削減に貢献する「食品ロス削減SDGsロッカー」の設置者・食品販売者を募集します！ ～横浜市はロッカーの設置場所提供者、設置者及び食品販売者のマッチングに取り組んでいます～	P28
16	9月12日	栄ストックヤードでの粗大ごみの自己搬入にクレジットカードとPayPayが使用できるようになります	P30
17	9月13日	～先行9区で10月1日からプラごみの分別ルールが変更！～ プラスチック分別変更をお伝えする10日前イベント等を実施します！	P31
18	9月17日	マイボトル専用コーヒーマシーンの活用に関する実証実験を開始します	P33
19	9月24日	ごみ焼却工場や南本牧最終処分場にキャッシュレス決済を導入します！	P35
20	9月25日	「進メエ～！未来へ 3つのRで」大都市共同キャンペーンを実施します！	P37
21	10月8日	みなとみらい21地区におけるペットボトルのボトルtoボトル事業の提案事業者を募集します	P41
22	10月15日	資源循環局金沢工場ネーミングライツスポンサー公募について提案内容への意見募集を行います	P43
23	10月17日	＼ 横浜・元町のオリジナルバッグブランド「キタムラ」とコラボ / オリジナルマイバッグ〔第5弾〕 販売開始！	P45
24	10月18日	市内の廃棄物処理業者が「横浜市資源循環推進プラットフォーム」を発足！	P47
25	10月21日	令和6年度「横浜市食の3Rきら星活動賞」受賞者を決定しました	P52

記者発表資料は、横浜市HPに掲載しています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/>

ごみ焼却工場の排ガス中の二酸化炭素有効利用の アイデア及び利用の提案を民間事業者の皆さまから募集します

横浜市では、2050年までの脱炭素化を目的とした「Zero Carbon Yokohama」を掲げており、一般廃棄物処理事業においては、ごみ焼却工場から排出される二酸化炭素(以下「CO₂」)の削減が課題となっています。そこで、ごみ焼却工場の排ガス中に含まれるCO₂を有効利用するアイデア及び利用について民間事業者の皆さまからテーマ型共創フロントにて募集します。

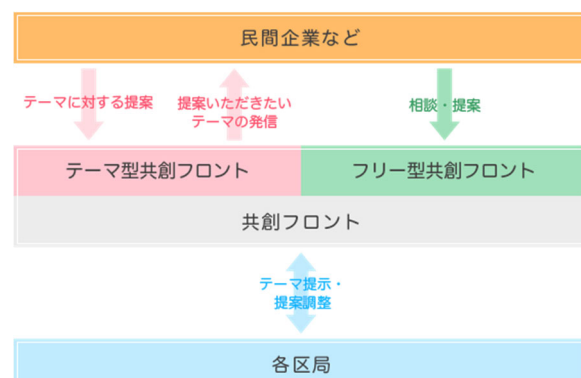
募集内容

募集テーマ	<p>次の2テーマについて募集します。</p> <p>①No.187 ごみ焼却工場の排ガス中の二酸化炭素有効利用のアイデア及び利用する提案</p> <p>CO₂の排出削減のため、ごみ焼却時に排出される排ガス中のCO₂を有効利用する方法の提案を募集します。</p> <p>また、CO₂を有効利用するために必要な設備の提案やCO₂の利活用が可能な事業者を募集します。</p> <p>②No.188 鶴見工場(横浜市鶴見区)の排ガスから実証試験として回収された二酸化炭素を有効利用する提案</p> <p>現在、ごみ焼却時に排出される排ガス中からCO₂を分離回収する装置を設置し、実証試験を行っています。この実証試験で回収されたCO₂の利用先を拡大するため、新たな利用方法や利用先に合わせた輸送方法の提案を募集します。</p>
応募方法	<p>募集詳細は、以下ホームページをご確認いただき、提案様式を(メールにて)ご提出ください。</p> <p>URL https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kyoso/kyosofront/front/syousai/theme-front.html</p>
提出先	<p>資源循環局施設課</p> <p>E-mail sj-shisetsu@city.yokohama.jp</p>



(参考)テーマ型共創フロントとは

横浜市から民間事業者の皆様へテーマを示し、そのテーマに対する公民連携事業の提案やアイデア等を募集する仕組みです。



お問合せ先

資源循環局施設課長 荒井 昌典 Tel 045-671-2527

ロッカー型自販機でパンを購入して、SDGs に貢献しませんか？

～ 横浜市スポーツ協会「横浜銀行アイスアリーナ」に
フードロス・食品ロス削減ロッカー型自販機を設置します～



横浜市及びヨコハマ SDGs デザインセンターでは、SDGs 未来都市・横浜の実現に向けて、SDGs の普及・促進、フードロス・食品ロス削減に取り組んでいます。

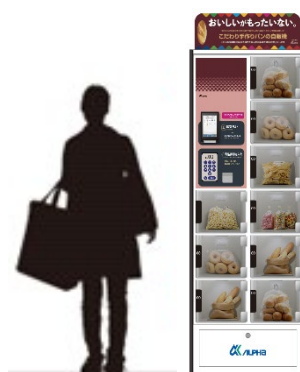
今回、横浜市スポーツ協会が管理運営するアイススケート場（横浜銀行アイスアリーナ・横浜市神奈川区）に、SDGs の達成及び廃棄物削減に資する取組として、賞味期限内でありながら廃棄されてしまう専門店のパン等をお得に購入できるフードロス・食品ロス削減ロッカー型自販機を新たに設置します。

この取組により、1.4 t /年の廃棄物を削減することができます。引き続き、市民の皆様が気軽・身近にSDGs やフードロス対策、脱炭素化に取り組むことができる機会の創出を図ります。

■ 概要

- ・販売開始日時 令和 6 年 4 月 19 日(金) 20 時頃
- ・販売場所 横浜銀行アイスアリーナ 2 階券売機横（どなたでもお入りいただけるエリアです）
- ・販売時間 20 時頃から翌朝 6 時頃まで
- ・販売品目 食パン、食事パン、焼菓子等（約 20～30%OFF）
- ・パン販売事業者 Pain de U（所在地：横浜市神奈川区）
- ・ロッカー設置事業者 株式会社アルファロッカーシステム（本社：横浜市金沢区）
- ・設置機器 フードロス・食品ロス削減ロッカー型自販機（キャッシュレスセルフベンダー）

（注）店舗の在庫状況等により販売がない場合や、今後、販売品等を変更する場合があります。



【ロッカー型自販機】



【販売品目（イメージ）】

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



裏面あり

■ 公益財団法人横浜市スポーツ協会 横浜銀行アイスアリーナについて



1951 年に開業した神奈川スケートリンクは、2015 年 12 月に横浜銀行アイスアリーナとしてリニューアルし、メインリンクが国際規格の広さとなりました。

ご家族やお友達同士でスケートを楽しんでいただける一般利用のほか、スケートを楽しむ上手に滑りたい方向けのスケート教室の実施や初心者向けのイベントも開催し、開業から 60 年の間、多くのお客様に親しまれています。

HP : <https://yokohama-icearena.jp/>

所 在 地 : 横浜市神奈川区広台太田町 1 - 1 (24 時間営業・無休)

■ 株式会社アルファロッカーシステムについて



1964 年に日本で初めてコインロッカーを製造・販売したロッカーのリーディングカンパニー。日々の暮らしの中でお荷物の一時預かりや商品の受け渡しのストレスや困りごとを解決し、人とモノが巡りやすい世界を目指してまいります。

アルファグループは 2023 年に創業 100 周年を迎えました。

HP : <https://alpha-locker.com>

所 在 地 : 横浜市金沢区福浦 1 丁目 6 - 8

■ Pain de U について



京浜東北線東神奈川駅・京急東神奈川駅徒歩 3 分に位置する、1 F は種類豊富なパン屋。2 F はトースト、ピッツァ、自家製スイーツのカフェ。(定休日 : 木曜)

所 在 地 : 横浜市神奈川区二ツ谷町 2 - 1

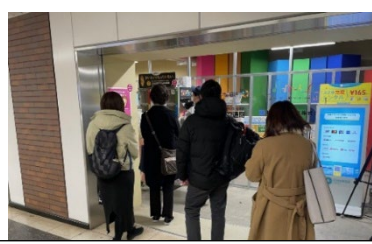
(参考) ロッカー型自動販売機第 1 弾について

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/koutuu/2023/20240111sdgsstation.html>

(市営地下鉄関内駅「SDGs ステーション横浜関内」フードロス・食品ロスを削減するロッカー型自販機を設置！)



ロッカー型自販機に商品を搬入する様子



販売された商品は連日完売するほど大人気です！

お問合せ先

- | | | |
|--|-------------------------------------|------------------|
| ■ フードロス・食品ロス削減、SDGs、エコハムSDGsデザインセンターに関すること | 脱炭素・GREEN×EXPO推進局SDGs未来都市推進課長 田村 康治 | TEL 045-671-3901 |
| ■ 横浜銀行アイスアリーナに関すること | 公益財団法人横浜市スポーツ協会スケートリンク事業課長 南部 信治 | TEL 045-411-8002 |
| ■ ロッカー型自販機に関すること | 株式会社アルファロッカーシステム 営業部 担当部長 三木 正造 | TEL080-5941-4145 |
| ■ 販売するパンに関すること | Pain de U 店長 山口 浩介 | TEL 045-312-6808 |

海洋プラスチックごみ削減のため近隣8市が連携し、 清掃活動を実施します

8市連携市長会議^(※)では、鎌倉市の提案により、令和3年度から海洋プラスチックごみ削減のための啓発活動を進めています。

世界自然保護基金（WWF）は、「川や海に流出したプラスチックごみは、やがてマイクロプラスチックとなって海洋生態系に悪影響を与えるとともに、食物連鎖を通じて食卓に提供され、私たちも毎週5g相当（およそクレジットカード1枚分）を摂取している可能性がある。」との見解を示しています。

海中ごみ・海岸漂着ごみの7割から8割は陸で発生し、河川を通じて流れ着くものであることから、根本的な解決のためには、広域的な視点での取組が必要です。

この趣旨を踏まえ、令和5年度から8市で連携して5月30日の「ごみゼロの日」にあわせ、まち、川、海を中心とした清掃活動を行っており、今年度も次のとおり実施します。

(※) 横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、逗子市、大和市、町田市の市長で構成（詳細は最終頁）



平成30年に鎌倉市の海岸に漂着したシロナガスクジラの赤ちゃんの胃の中からプラスチックごみが発見されました

1 各市の清掃活動の実施日

市	名称	日時	場所
横浜市	①横浜駅をきれいに！キャンペーン ②中区クリーンアップデー 2024 ※その他横浜市内で実施あり	①5月30日（木） ②6月1日（土）	①横浜駅周辺 ②大通り公園（中区）周辺
川崎市	春のポイ捨て禁止・路上喫煙防止 キャンペーン	5月30日（木）	川崎市内主要駅
横須賀市	ごみゼロ啓発キャンペーン	5月30日（木）	横須賀中央駅周辺
鎌倉市	①クリーンアップかまくら海の部 ②クリーンアップかまくらまちの部	①5月6日（月・休） 9：30～11：00 ②5月26日（日） 10：00～11：00	①材木座、由比ヶ浜、坂ノ下及び腰越の海岸 ②鎌倉駅、北鎌倉、大船駅周辺
藤沢市	ゴミゼロクリーンキャンペーン	5月26日（日） 9：00～10：00	藤沢市域海岸一帯
逗子市	①田越川一斉清掃 ②逗子530ごみゼロアクション	①5月25日（土） 10：15～ ②5月30日（木）	①田越川 ②逗子市内全域
大和市	クリーンキャンペーン「清掃の日」	5月26日（日）	大和市内全域
町田市	ごみゼロデー美化キャンペーン	5月25日（土）	南町田グランベリー パーク駅周辺

2 昨年度の様子



参考

● 8市連携市長会議の取組

横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、逗子市、大和市及び町田市の8市では、水平・対等な関係で圏域全体の行政サービスの向上、地域コミュニティの活性化、持続可能な成長・発展を目指し、連携を進めています。

● 海洋プラスチックごみ削減啓発プロジェクト

令和3年及び令和4年の8市連携市長会議合意事項に基づき、先進事例の共有やアクションも含めた具体的な啓発活動などの取組を進めるため、8市の環境担当部門が出席する検討会の周知用の名称です。

お問合せ先

【8市連携に関すること】

政策経営局大都市制度推進本部室広域行政課長 須田 浩美 Tel 045-671-2108

【ごみゼロの日にあわせた清掃活動に関すること】

資源循環局家庭系廃棄物対策部街の美化推進課長 津島 邦宏 Tel 045-671-2536

本件については、8市で同時発表しています。

横浜市の公共施設等に対するネーミングライツについて サウンディング型市場調査の実施結果を公表します

横浜市では、公共施設等に対するネーミングライツ(施設命名権)について、横浜市、スポンサーとなる事業者等の皆様、市民の皆様のそれぞれにとってメリットとなり、地域活性化にも寄与できるものとなるよう、更なる導入促進に向けた検討を進めています。

このたび、公共施設等へのネーミングライツの導入可能性等について、事業者の皆様との「対話」を通じて、自由かつ実現可能な活用アイデアを広くお聞きする「サウンディング型市場調査」を実施し、結果をとりまとめましたので公表します。いただいたご意見も踏まえながら、引き続き、導入促進に向けた検討や取組を進めていきます。

1 対話の実施概要

日程	令和6年3月12日(火)～15日(金)
場所	横浜市庁舎内会議室
形態	直接対話(個別、非公開)
時間	1参加者あたり1時間
参加者	7事業者
対話の希望があった個別施設	横浜美術館の室場(ギャラリー等)、市営プール(旭、都筑)、たきがしら会館、横浜市スポーツ医科学センター、新横浜公園バスケットボール広場、歩道橋、資源循環局関係施設(ごみ焼却工場、喫煙所)、大気汚染常時監視施設 ※参加者から「対話」の希望があった施設であり、具体的なネーミングライツの導入検討を担保するものではありません。

2 対話の目的

- ・横浜市公共施設等におけるネーミングライツ事業の市場性に対する事業者意見の聴取
- ・施設の魅力向上や地域貢献・施設活性化につながる事業提案の聴取
- ・導入にあたり課題や配慮を要する事項に関する事業者意見の聴取 等

3 対話の対象項目

- ・横浜市のネーミングライツ制度全般
- ・参加者から対話の希望があった個別対象施設 等

4 主なご意見

- (1) 横浜市公共施設等におけるネーミングライツ事業の市場性について
 - ・自社がテーマ性をもって活動している領域に強く関係する施設や、創業・本社拠点のある場所であれば、名称を露出する価値はあると考える。
- (2) 施設の魅力向上や地域貢献・施設活性化につながる提案について
 - ・横浜市のネーミングライツ事業は「広告」の観点が強い。ネーミングライツには「応援」の側面もあるため、パートナーと一緒に地域を盛り上げるという視点を強めることも可能ではないか。

※詳細は以下ウェブページをご覧ください。

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kyoso/private-fund/naming-rights/r5sounding.html>



お問合せ先		
政策経営局財源確保推進課長	蛭田 晃生	Tel 045-671-4791

横浜市の公共施設等のネーミングライツに関する対話（サウンディング型市場調査）結果

1 概要

対話日程	令和6年3月12日(火)～15 日(金)
場所	横浜市庁舎内会議室
形態	直接対話(個別、非公開)
時間	1参加者あたり1時間
参加者	7事業者
対話の希望があった個別施設	横浜美術館の室場(ギャラリー等)、市営プール(旭、都筑)、たきがしら会館、横浜市スポーツ医科学センター、新横浜公園バスケットボール広場、歩道橋、資源循環局関係施設(ごみ焼却工場、喫煙所)、大気汚染常時監視施設

2 本対話で得られた主なご意見について

(1) 横浜市の公共施設等におけるネーミングライツ事業の市場性

- ・高額の案件のみならず、少額の案件も潜在市場として考慮すべきではないか。
- ・施設ごとに興味のある企業等が異なる点を考慮し、各施設の持つポテンシャルや、企業特性に合わせた告知活動を行い、スポンサーにとってのメリットをアピールする必要がある。
- ・自社がテーマ性をもって活動している領域に強く関係する施設や、創業・本社拠点のある場所であれば、名称を露出する価値はあると考える。
- ・横浜市は、市民が多く、観光資源も豊富なため、宣伝効果は高く、需要が高いと思われる。ただ、市民が多い分、施設数も多く、市民利用施設においては、特に他の行政機関と比較しての優位性は感じない。

(2) ネーミングライツ事業自体の進め方

- ・ウェブ上の地図等に名称が掲載される可能性があるのと、魅力的であると考ええる。
- ・一般の人にまで愛称が使用されるようになると、価値があるのであろうと考える。
- ・市ガイドラインに「市民に周知する」ということが書かれているが、それ以上のことが書かれていないため、メリットを感じづらい。大型施設はメディア露出等が見込めるが、自然と名前が浸透する訳ではない小規模施設において、市役所が別に周知の機会を創るなどのメリットを提示できると導入が広まるのではないか。

(3) ネーミングライツ事業実施にあたり課題や配慮を要する事項

- ・横浜市のネーミングライツ事業については既に十分考慮されているように見える。
- ・施設としての既存のブランドを維持できるような名称(愛称)とした方がよい。
- ・ネーミングライツ料以外の費用負担(原状復帰に係る費用など)を求めないようにした方がよい。
- ・自社と競合するような企業が指定管理者の場合は、露出効果があったとしても、参入することはできなくなる。
- ・ネーミングライツによる財源を、可能な限り、スポンサーの希望する用途に合わせて活用してほしい。
- ・施設名だけでなく、装飾や広告価値等の付加価値を付ける配慮をしてもよいのではないか。

(4) 施設の魅力向上や地域貢献・施設活性化につながる提案

- ・横浜市のネーミングライツ事業は「広告」の観点が強い。ネーミングライツには「応援」の側面もあるため、パートナーと一緒に地域を盛り上げるという視点を強めることも可能ではないか。
- ・申込みがあった際に、パートナーが協力できることについての評価軸を設けてはどうか。その際、市から具体的な制約をつけるのではなく、あくまでもパートナー側が自発的に提案することに意味がある。
- ・基本的には、地域住民や施設利用者が快適に過ごせるような環境の構築にネーミングライツ料を使ってもらえればよい。当該施設の運営に関して提案ができる権利があればなおよい。
- ・スポンサー企業の特性を生かした役務や物品提供をもって、ネーミングライツの契約を締結できるようにすると、スポンサー側も施設の周辺の方々や利用者のために行動しやすくなるのではないか。

(5) 応募しやすい募集条件などのアイデア

- ・中小企業でも参入しやすいように整えるべきと考える。
- ・一般的に自治体のスポンサー募集期間は短すぎる。興味をもった企業に十分な検討期間や準備期間を確保した方がよい。
- ・原則3年間程度の契約期間が長すぎず、短すぎずベスト。自動更新を基本とし、その企業が更新の意思を示さない場合は再公募を行うことがよい。
- ・少額の支援を得られるように、事案ごとにクラウドファンディングのような少額出資を組み合わせた方式もよいと思う。
- ・複数施設一括での募集があってもいいのではないか。規模も小さい施設は、地域単位あるいは関連性の高い施設をパッケージで募集すれば活性化するのではないか。

(6) 主な施設用途分類（スポーツ施設、文化施設、公園施設など）ごとの考え

- ・スポーツ施設など需要が高く、スポンサー料が高額になりがちなものは、個別施設単位で命名権を募集した方が、より成立しやすくなる。
- ・施設分類ごとにそれぞれ親和性が高く、地域還元もしやすい企業・業種があるはずである。
- ・指定管理者がネーミングライツも獲得した場合は、施設運営を総合的に実施できるメリットがあるため、当該企業に対しては、上乘せの優遇措置を与えることを検討しても良いのではないか。

(7) その他（個別対象施設等に対するご意見・ご提案も含む）

- ・指定管理者制度導入施設におけるネーミングライツの契約期間は、指定管理期間を考慮した年数とした方がよい。
- ・契約期間は3～5年程度が妥当であるとする。
- ・指定管理者として、ネーミングライツの導入により期待している効果は、施設の PR や指定管理者のブランド力向上が挙げられる。
- ・公募が行われるのであれば、企業の認知度やイメージアップにつながるという期待から申込を検討したい。
- ・施設所在区や周辺企業に対し、自社の認知度向上を図りたいと考える。
- ・希望するスポンサーメリットは、広報媒体や市ウェブサイト等による広報の他、関係機関への愛称使用の周知・働きかけがある。
- ・施設の魅力向上や地域貢献・施設活性化につながる提案として、施設所在区小学生等の招待が考えられる。
- ・ネーミングライツを導入することによって施設名称が変わる場合に、スポンサー側に、既存の印刷物等の記載内容の修正に係る費用負担等をさせないことで、参入のハードルが下がるのではないかと考える。
- ・愛称がその施設にふさわしくなかった場合の条件設定等をした方がよいと考える。
- ・ネーミングライツによって、自社の名称が市ウェブサイトに掲載されることにより認知度が向上することは魅力的である。

横浜市と小田急電鉄株式会社が ごみ収集のサポートシステムを活用した実証実験を実施します

横浜市は令和 6 年 5 月 20 日に小田急電鉄株式会社と協定を締結し、市内の家庭ごみを収集するごみ収集車の交通事故防止や収集業務に関する作業効率化などを目的として、ごみ収集のサポートシステム「WOOMS」を活用した実証実験を実施します。

1 WOOMS^{ウームス}について

WOOMSとは、小田急電鉄株式会社が提供している、主に自治体の廃棄物部門や廃棄物収集事業者の活用を想定して開発されたごみ収集サポートシステムです。デジタル技術を用いて収集車の運行状況が見える化し、安全性向上や作業負荷軽減に役立てることができます。

2 協定に基づく実験内容

ごみ収集車の位置情報や走行軌跡、急ブレーキや急発進といった運転状況をデータ化するWOOMSの既存機能のほか、ドライブレコーダーをWOOMSに連動させることで、危険運転を検知した際の運転映像を自動取得する新機能を試験的に活用し、次のとおり実験を行います。

期間	令和 6 年 6 月から 11 月(予定)
実施場所	横浜市港北区(資源循環局 港北事務所管轄エリア) 港北事務所の所在地 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町 1238 番地
目的	(1) 交通事故防止効果の検証 (2) ごみ収集業務に関する作業効率化の検証
内容	(1) 運転状況のモニタリング等を通じた事故リスクの把握 (2) 運行ルートを表した地図、運行管理情報等の電子化 など

お問合せ先
【実証実験に関すること】 横浜市資源循環局 業務課長 澤田 亮仁 Tel 045-671-2532 【WOOMSに関すること】 小田急電鉄株式会社 広報部課長代理 池田 侑樹 Tel 03-3349-2290

アンケートに答えるとベ이스ターズグッズが当たる！！ 横浜 DeNA ベ이스ターズ選手が呼びかける環境行動 ～「今」できることから始めよう！～

横浜市では、横浜 DeNA ベ이스ターズに御協力いただき、環境啓発活動を行っています。

今年は市内約 1,050 か所にポスターを掲出し、市民へ環境行動を呼びかけます。また、今年は新たに 6 月 3 日（月）から 6 月 9 日（日）の期間、横浜市営地下鉄ブルーライン関内駅に大型ポスターを掲出します。昨年に引き続き、抽選で 6 名様にベ이스ターズグッズが当たる環境に関するアンケートも実施します！

1 ポスターデザイン



わたらい りゅうき
度会 隆輝 選手（外野手 背番号 #4）

プラスチックごみの出し方が変わります。令和 6 年 10 月から 9 区、令和 7 年 4 月から全 18 区で実施



やまもと ゆうだい
山本 祐大 選手（捕手 背番号 #50）

エコラベルを目印に環境にやさしい商品を購入しよう！



もりはら こうへい
森原 康平 選手（投手 背番号 #45）

無理のない範囲でエアコンの温度設定を見直すなど、すぐにできる節電から省エネを始めよう。

※ポスターデータを御希望の方は、お問合せ先まで御連絡ください（新聞等への掲載用のみ）。

2 環境に関するアンケートに答えて、横浜 DeNA ベ이스ターズのグッズを当てよう！

「環境に関するアンケート」に答えていただいた方の中から、抽選で 6 名様に横浜 DeNA ベ이스ターズグッズが当たります！アンケート(横浜市電子申請システム)より御回答ください。

■回答期間：令和 6 年 6 月 30 日(日)まで

■抽選対象：横浜市在住の方

※アンケートはどなたでも御回答いただけます。

■アンケート(横浜市電子申請システム)：

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/11b3f2e7-f27b-4621-8e90-55fb5ce32473/start>

※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。



抽選で当たるグッズ（サイン入り色紙・ボール）

3 ポスター掲出概要

■掲出予定か所数

市内約 1,050 か所

■主な掲出場所と期間

★令和 6 年 6 月 3 日(月)～令和 6 年 6 月 9 日(日)

横浜市営地下鉄ブルーライン関内駅 出口 1 付近

・令和 6 年 6 月 3 日(月)～令和 6 年 6 月 30 日(日)

横浜市役所内デジタルサイネージ

・令和 6 年 6 月初旬～令和 6 年 6 月 30 日(日)

シーサイドライン新杉田駅構内、シーサイドライン車内

・令和 6 年 6 月初旬～令和 6 年 9 月 30 日(月)

市内市立小・中・義務教育・高等・特別支援学校(約 500 校)

市内公共施設(区庁舎、スポーツセンター、地区センター、コミュニティハウス等)

＼約 縦 2m×横 4.3m の大型ポスターを掲出／



大型ポスター 3 選手が並んで掲載されます
(関内駅 出口 1 付近)

4 6 月は環境月間

1972 年 6 月 5 日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して、国連は 6 月 5 日を「世界環境デー」とし、日本でも環境基本法(平成 5 年)で 6 月 5 日を「環境の日」と定め、この日を含む 6 月を「環境月間」としています。

横浜市としても、この環境月間を機に、市民、企業、学校、行政等があらためて環境問題について一緒に考え、これからの行動につなげていけるよう、環境に関する普及啓発を進めています。

横浜市の環境月間の取組やイベントはこちらのページで御確認ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/jyoho/kankyogekkan.html>



環境月間 HP



お問合せ先		
【エコラベル・環境月間に関すること】		
みどり環境局環境活動事業課長	森山 晴美	Tel 045-671-3830
【脱炭素に関すること】		
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局脱炭素ライフスタイル推進課長	雨堤 久美	Tel 045-671-2477
【プラスチック対策に関すること】		
資源循環局 3 R 推進課長	今村 貴美	Tel 045-671-2563

横浜市、JAL、ダイエーが連携し、 家庭から出る廃食油の本格回収を開始します！

横浜市と日本航空株式会社（以下、「JAL」）は、廃食油を原料とした SAF（持続可能な航空燃料）製造に関する連携協定を締結しています。

取組の第一弾として、株式会社ダイエーが運営するイオンフードスタイル鴨居店において、試行的に廃食油の回収ボックスを設置し、家庭で発生する廃食油の回収を行ってきました。

このたび、鴨居店での廃食油回収が継続的に実施可能と判断できましたので、**6月5日(水)より本格回収を開始する運びとなりました。**また、取組をさらに推進するため、第二弾として**イオンフードスタイル三ツ境店及びイオンフードスタイル港南台店においても同様に廃食油回収を開始します。**

1 回収について

(1) 回収場所

イオンフードスタイル鴨居店 店舗内回収ボックス

(2) 回収日

6月5日（水）から原則毎日 8時～23時 ※店舗の営業時間に準じます

(3) 回収方法

ご家庭で集めた廃食油を、回収ボックスに直接流し込みます。



※ペットボトル等で持参いただくことができますが、油を入れたあとのペットボトルはリサイクルができませんので、店頭の容器回収は行いません。便利な専用回収ボトルをご用意しております。

＜「すてる油で空を飛ぼう」プロジェクトについて＞

航空機の脱炭素化を進めるため、ご家庭の廃食油を回収し、SAF への再利用を呼びかける JAL が進めるプロジェクトです。店頭で参加費 200 円（税抜）にてご参加いただけます。ご参加いただいた方には、回収ボトル 1 つと JAL オリジナルステッカーを差し上げます。

さらに、廃食油の回収を店舗にある二次元コードからご報告いただくことで、JAL から抽選でプレゼントが贈られます。未来の空のために、みんなで取り組みましょう！

<https://www.jal.com/ja/sustainability/environment/climate-action/saf/uco/>



裏面あり

店舗で回収できる油は次のとおりです。ご確認の上、店舗にお持ちください。

回収できる油	
常温で 液体 の植物性油 （例）サラダ油、ごま油、なたね油、コーン油、紅花油、米油、大豆油、ヒマワリ油、 オリーブオイル 等	
回収できない油	
1 常温で 固形 の植物性油	（例）マーガリン、ショートニング、パーム油、ヤシ油
2 鉱物系油	（例）灯油、エンジンオイル
3 動物性油	（例）バター、ラード、魚油、鯨油
4 食品や香辛料など混ざった油	（例）ドレッシング、ラー油、ネギ油、フレーバーオイル
5 事業系油	（例）飲食店など事業から出る油

2 取組第二弾について

取組の第二弾として、株式会社ダイエーが運営するイオンフードスタイル三ツ境店及び港南台店においても、廃食油の回収ボックスを設置し、ご家庭で発生する廃食油の回収に取り組みます。

イオンフードスタイル三ツ境店	イオンフードスタイル港南台店
	
回収開始日：7月1日（月） 告知イベント：6月29日（土） 6月30日（日）	回収開始日：7月22日（月） 告知イベント：7月20日（土） 7月21日（日）

<SAF（持続可能な航空燃料）について>

SAFとは、Sustainable Aviation Fuelの頭文字をとったもので、「持続可能な航空燃料」と訳されます。原料の生産・収集から、製造、燃焼までのライフサイクルで、従来の航空燃料に比べて温室効果ガスの排出量の大幅な削減が期待できるとともに、既存のインフラをそのまま活用できる航空燃料です。

お問合せ先	
（取組全般に関すること）	
横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局カーボンニュートラル事業推進課長	松下 功 Tel 045-671-2636
（回収の取組、ボトル、回収BOXに関する問い合わせ）	
日本航空株式会社 国産 SAF 推進タスクフォース	Mail uco@jal.com
（店舗での取組に関すること）	
株式会社ダイエー 経営企画部	Tel 03-6388-7100（代表）

「GREEN×EXPO 2027」で装飾した ラッピングバス・ラッピング収集車が完成！ ～市内で各 100 台が走行します～

GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）は、令和6年6月22日に開催1000日前を迎えます。これに伴い、さらなる機運を醸成していくため、横浜市営バスおよび横浜市ごみ収集車をGREEN×EXPO 2027のビジュアルで装飾しました。

このラッピングバスおよびラッピング収集車の各100台は、6月下旬から順次、横浜の街を走行します。

また、開催1000日前に合わせ、6月22日（土）には、これらのお披露目イベントも開催しますので、ぜひお越しください。なお、同日は「GREEN×EXPO 2027 開催1000日前イベント」が開催され、あわせて公式マスコットキャラクターの名前が発表されます。



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN
開催1000日前連携イベント

イメージ

〈ラッピングバス〉

GREEN×EXPO 2027の公式クリエイターである写真家・映画監督の蜷川 実花（にながわ みか）氏（※1）が監修したキービジュアル（※2）で、ラッピングしています。



- ・市営バス約800両のうち、100両をラッピング！
- ・都心臨海部を中心に、市営バス走行エリア全域で順次運行します。
- ・環境にやさしい燃料電池（FC）バスやハイブリットバスを中心にラッピングします。

〈ラッピング収集車〉

GREEN×EXPO 2027の公式マスコットキャラクター（※3）でラッピングしています。

- ・収集車約 500 台のうち、100 台をラッピング！
- ・全 18 区でラッピングした収集車が走ります。
- ・皆様のお住まいの地域のごみを収集する際に見ることができます。



裏面あり

お披露目イベント

1 日時

令和6年6月22日（土） 12:00～18:00

※荒天中止

2 場所

日本丸メモリアルパーク 入口広場
（横浜市西区みなとみらい2丁目1-1）

3 内容

○車両の展示

（ラッピングバス・ラッピング収集車 各2台）

ラッピングバスの1台には、花みどりを感じられる車内装飾を行います。

○こども用制服の貸出

市営バスの制服およびごみ収集の作業服を着て、記念撮影ができます。

○フィンガースタンプ・フラワーサークルの実施

来場者の皆様に、「これから行う脱炭素に向けた行動」の宣言として、パネルにフィンガースタンプを押していただき、公式マスコットキャラクターを彩る花の輪を作り上げます。

その他、交通局マスコット「はまりん」や、資源循環局マスコット「ミーオ」と「イーオ」が応援に！GREEN×EXPO 2027の公式SNSアカウント（Instagram・X・Facebook）をフォローいただいた方に、切り花をプレゼントします！（数量限定）



横浜市交通局
はまりん



横浜市資源循環局マスコット
ミーオ イーオ



(※1)
GREEN×EXPO 2027
公式クリエイター 蜷川実花



写真家・映画監督
2027年国際園芸博覧会において、
キービジュアル開発を担当

(※2)
GREEN×EXPO 2027
キービジュアル



2024年3月から新たなデザイン
として、市内各地で展開

(※3)
GREEN×EXPO 2027
公式マスコットキャラクター



「自然や地球との新たな関係を育む
コミュニケーター」
6月22日に名前を発表



2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」の概要

テーマ：幸せを創る明日の風景

開催期間：2027年3月19日（金）～9月26日（日）

開催場所：神奈川県横浜市・旧上瀬谷通信施設

博覧会区域：約100ha（内、会場区域80ha）

クラス：A1（最上位）クラス（AIPH承認＋BIE認定）



GREEN×EXPO 2027 開催1000日前イベント

～市民参加のキックオフ！“幸せを創る明日の風景”を共に描く2 days～

日時：令和6年6月22日（土）・23日（日）11:00～18:00

会場：横浜・みなとみらい21 地区

（神奈川県横浜市中区桜木町1丁目および西区みなとみらい2丁目2-1）

- ・桜木町駅前広場：「GREEN×LIVING」
- ・ランドマークプラザ1F サカタのタネガーデンスクエア：「GREEN×STAGE」
- ・ランドマークプラザ1F フェスティバルスクエア：「GREEN×PLAY」

お問合せ先

（GREEN×EXPO 2027 に関すること）

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長 長谷部 千晶 TEL:045-671-4866

（ラッピングバスに関すること）

交通局資産活用課長 星野 尊 TEL:045-671-3210

（ラッピング収集車に関すること）

資源循環局3R推進課長 今村 貴美 TEL:045-671-2563

鶴見資源化センターにおける転落事故について

7月2日（火）16時頃、横浜市より施設管理を受託している横浜市資源循環公社のアルバイト職員が、鶴見資源化センターの屋上において作業中に転落し、死亡する事故が発生しました。

事故の概要等は次のとおりであり、詳細については現在確認中です。

1 発生場所

鶴見資源化センター（鶴見区末広町 1-15-1）

2 事故概要

7月2日（火）16時頃、鶴見資源化センター屋上において、雨どいの清掃をアルバイト職員含む3名で行っていたところ、アルバイト職員が天窓（トップライト）を踏み抜き、約15m下のコンクリート面に転落しました。速やかに当該職員を救急車で病院に搬送しましたが、同日18時30分に死亡が確認されました。

3 経過

7月2日（火）	16:00 頃	転落事故発生（転落時から意識不明）
	16:11	救急車要請
	16:18	救急車到着（済生会横浜市東部病院へ搬送）
	17:05	警察による現場検証
	18:30	病院にて死亡を確認

4 被災者

20歳 男性 （2024年4月1日付で資源循環公社にアルバイトとして採用）

5 施設の事業概要

市内の家庭から出される「缶・びん・ペットボトル」を受入れし、資源化に向けた選別を行う施設（市内に4か所ある施設のうちのひとつ）

6 施設の管理運営業務受託者

名称：公益財団法人 横浜市資源循環公社

住所：横浜市中区尾上町1丁目8番地 関内新井ビルディング4階

お問合せ先

資源循環局施設課長	荒井 昌典	Tel 045-671-2527
横浜市資源循環公社 事務局長	富岡 淳	Tel 045-223-2021

SDGs 達成・CO2 排出削減に貢献する

「食品ロス削減 SDGs ロッカー」を設置しませんか？

～横浜市はロッカーの設置場所提供者、設置者及び食品販売者のマッチングを開始します～

SDGs
未来都市
横浜



横浜市及びヨコハマ SDGs デザインセンターでは、SDGs の普及・促進や CO2 排出削減、食品ロス削減に取り組んでいます。

今年1月より実施している、賞味期限内でありながら廃棄されてしまう専門店のパン等を購入できる食品ロス削減 SDGs ロッカーの設置により、順調に食品ロス削減が進んでいます。

今後、この取組を全市に拡大するため、横浜市内における「食品ロス削減 SDGs ロッカー」の設置場所提供者、ロッカー設置者及び食品販売者のマッチングを開始します。

今回は、民間のロッカー設置場所提供者の公募を開始します。

■事業スキーム

今回の公募対象

(1) 場所提供者の公募

市内でロッカー設置場所を募集します。

(2) 条件等のヒアリング

応募者に対し、設置や入荷の条件等についてヒアリングします。

(3) 連携事業者の公募

場所提供者の提示する条件に合わせ、連携事業者（ロッカー設置者・食品販売者）を募集します。

(4) 事業者間の対話

場所提供者と連携事業者で対話します。

(5) 連携の成立

場所提供者と連携事業者（ロッカー設置者・食品販売者）がマッチングすれば、事業開始です。

【ロッカー設置場所提供への応募条件の例】

市民の方が広く利用できる場所であること

※社員の福利厚生用や会員のみ利用可など、特定の方しか利用できない場所は除きます

640mm（幅）×370mm（奥行）以上の敷地

※募集内容の詳細については、ヨコハマ SDGs デザインセンターHPを確認してください。

<https://www.yokohama-sdgs.jp/>

裏面あり

■今後の目標

18 区に展開し、30 トン／年以上の廃棄物削減、120 トン／年以上の CO2 削減（※）を目指します。

※CO2 排出量は、「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.4）」のパン類製造における排出原単位：3.91 トン-CO2/（製造量）トンをもとに、年間 30 トンのパン製造や運搬が回避されたものとして算出

■食品ロス削減効果

廃棄食品の運搬に伴う化石燃料の使用量や、食品として消費されることによる廃棄物の焼却量を減少させることになれば、地球温暖化につながる二酸化炭素の排出量削減に寄与します。

■これまでに設置した場所

設置場所	ロッカー扉数	廃棄物削減量
市営地下鉄関内駅構内（中区）	21	1.2 トン／年
横浜銀行アイスアリーナ（神奈川区）	9	1.4 トン／年
みなとみらい線馬車道駅（中区）	18	1.5 トン／年



（参考）過去の記者発表資料

・市営地下鉄関内駅「SDGs ステーション横浜関内」フードロス・食品ロスを削減するロッカー型自販機を設置！

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/koutuu/2023/20240111sdgsstation.html>

・ロッカー型自販機でパンを購入して、SDGs に貢献しませんか？～ 横浜市スポーツ協会「横浜銀行アイスアリーナ」にフードロス・食品ロス削減ロッカー型自販機を設置します～

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2024/icearena-locker.html>



ロッカー型自販機に商品を搬入する様子



販売された商品は連日完売するほど大人気です

お問合せ先			
■ 食品ロス削減SDGsロッカーの設置、SDGsに関すること			
脱炭素・GREEN×EXPO推進局SDGs未来都市推進課長	田村 康治	TEL 045-671-3901	
■ 横浜市内の食品ロス削減に関すること			
資源循環局事業系廃棄物対策課担当課長	大島 貴至	TEL 045-671-2558	
■ ヨコハマSDGsデザインセンターに関すること			
ヨコハマSDGsデザインセンター総合コーディネーター	石塚 直樹	TEL 050-3749-7415	

※ロッカー設置場所での取材をご希望の場合は、7月4日 17 時まで、SDGs 未来都市推進課に連絡してください。

資源循環局金沢工場の ネーミングライツスポンサーを公募します

資源循環局金沢工場において、施設の維持管理財源の確保及び民間企業団体等への地域貢献の場を提供することを目的に、ネーミングライツスポンサーを公募します。

1 スポンサーメリット

資源循環局金沢工場の愛称として、スポンサーの企業名または商品（ブランド）名を付けることが可能です。各種広報印刷物・ホームページ等への愛称露出を通じて、マスコミ・市民等へのPR効果が期待できます。

2 契約条件（抜粋）

- ・希望契約金額：年間50万円以上（税抜き）
- ・愛称使用期間：5年間
- ・愛称使用開始時期：令和7年4月（予定）
- ・地域貢献の提案：スポンサーとして、金沢工場の魅力向上や、金沢工場を起点とした地域貢献・地域活性化につながる提案をしてください。

3 申込み方法・公募期間

詳細は、「資源循環局金沢工場ネーミングライツ公募要項」をご覧ください。

【掲載URL】

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/shokai/shokyaku/namingrights.html>

公募期間は、令和6年7月12日（金）午前10時から8月9日（金）午後5時までです。

※郵送の場合の締切りは、8月9日（金）の消印有効とします。



▲掲載ページはこちらから

4 導入までの流れ

横浜市が設置するネーミングライツ導入検討会において、提案金額・愛称案・地域貢献の提案等を総合的に検討し、その結果を踏まえて優先交渉権者を決定します。その後、当該施設のネーミングライツの導入についての市民意見聴取を経て、契約条件を協議したうえで契約します。



5 お問い合わせ先

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10（23階）

資源循環局適正処理計画部施設課

TEL: 045-671-2518 FAX: 045-664-9490

E-mail: sj-shisetsu@city.yokohama.jp

参考 資源循環局金沢工場の概要

横浜市の家庭系ごみと事業系の一般廃棄物を焼却処理している工場です。ごみの焼却に伴い発生する蒸気を有効活用し、蒸気タービン発電機による発電を行うほか、工場に併設した温水プールに蒸気を供給しています。

- ・所在地：横浜市金沢区幸浦二丁目7番地1
- ・竣工：平成13年3月
- ・処理能力：1,200トン／日（400トン／日×3炉）



資源循環局金沢工場外観

お問合せ先		
資源循環局施設課長	荒井 昌典	Tel 045-671-2527

令和6年度「一般廃棄物収集運搬業優良事業者」を 認定しました！

横浜市では、一般廃棄物収集運搬業において法令遵守はもとより、資源循環産業の担い手として、事業系廃棄物の分別排出や3R活動等に積極的に取り組み、他の模範となる一般廃棄物収集運搬業者を「一般廃棄物収集運搬業優良事業者」として平成17年度から毎年認定しています。

令和6年度は、次の17事業者を優良事業者として認定しました。

事業者名	所在地
大塚産業有限会社	都筑区
株式会社神奈川保健事業社	金沢区
株式会社カンキョーワークス	旭区
有限会社佐々木商店	西区
株式会社春秋商事	都筑区
株式会社神港商会	港北区
株式会社新和商会	戸塚区
有限会社末広金属	泉区
株式会社ダイトーフジテック	金沢区
株式会社滝田商会	港南区
武松商事株式会社	中区
辻村商事株式会社	西区
株式会社デスポ	神奈川区
株式会社平賀興業所	鶴見区
藤ビルメンテナンス株式会社	緑区
丸忠建工株式会社	鶴見区
株式会社萬世	泉区

(五十音順)

※認定された優良事業者の取組は、横浜市ホームページにて掲載しています。

優良事業者の取組に関する掲載ページURL

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/gomi-recycle/ippan/yuryo.html>



お問合せ先		
資源循環局事業系廃棄物対策課担当課長	田島 禎之	Tel 045-671-2526

資源循環局×横浜エクセレンス きれいなまちづくりに関する協定を締結します

©YOKOHAMA EXCELLENCE

横浜市資源循環局と横浜エクセレンス（プロバスケットボールチーム）は、スポーツの持つ力を活用し、多くの方にまちの美化や環境問題に関心を持っていただくため、「きれいなまちづくりに関する協定」を締結します。今後は、相互の連携を強化し、清掃活動をはじめ、ごみの分別や3R行動の啓発など、まちの美化行動を起こすきっかけとなるような取組を協働で進めていきます。

- 1 協定名称 横浜市資源循環局と横浜エクセレンスのきれいなまちづくりに関する協定
- 2 締結日 令和6年8月23日（金）
- 3 連携事項（1）清掃活動に関する事項
（2）環境美化等に資する広報・啓発活動に関する事項
（3）その他協定第1条に定める目的に資する事項
- 4 今後の取組について
協定締結の取組第1弾として、横浜エクセレンスのホームゲーム開催日において、ホームアリーナ（横浜武道館）周辺の清掃活動を合同で実施する予定です。

なお、協定締結に伴い、令和6年8月28日（水）に開催される「2024-25 シーズン 横浜エクセレンス新体制発表会」（詳細裏面）において、清掃活動等の際に着用するオリジナルビブスを横浜市に寄贈いただきます。報道関係者の皆さま、ぜひ取材にお越しくください。

取材を希望される場合は、8月26日（月）17時まで、裏面のお問合せ先までご連絡ください。

【これまでの横浜市と横浜エクセレンスの取組例】



区役所と合同で清掃活動



区役所と連携し、市内小学校で「プラスチックごみの分別拡大」の啓発活動

【寄贈いただくオリジナルビブス】

（イメージ）



裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

【参考】2024-25 シーズン 横浜エクセレンス新体制発表会

2024-25 シーズン クラブテーマ



- 1 日時
令和6年8月28日（水）正午から13時
- 2 場所
横浜市役所1Fアトリウム（中区本町6-50-10）
- 3 主な内容（※今後内容や登壇者が変更となる可能性があります）
 - ・代表取締役社長 ^{さくらい} 桜井 ^{なおよ} 直哉氏 挨拶
 - ・ゼネラルマネージャー ^{いしだ} 石田 ^{たかき} 剛規氏 挨拶
 - ・横浜エクセレンス専属チアリーダース「Elegance」メンバー紹介・パフォーマンス
 - ・2024-25 シーズン選手紹介・挨拶
 - ・ヘッドコーチ ^{かわい} 河合 ^{りゅうじ} 竜児氏 挨拶
 - ・横浜市とのきれいなまちづくりに関する協定に基づくオリジナルピブスの寄贈
 - ・フォトセッション など



昨年度の新体制発表会の様子

お問合せ先

（協定について）

資源循環局街の美化推進課長

津島 邦宏 Tel 045-671-2536

（新体制発表会について）

株式会社横浜エクセレンス 営業本部 ホームタウン事業部 上田 茜 Tel 045-264-6424



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



横浜市資源循環局と横浜エクセレンスのきれいなまちづくりに関する協定

横浜市資源循環局（以下「甲」という。）と株式会社横浜エクセレンス（以下「乙」という。）は、きれいなまちづくりに資する活動について、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲及び乙が相互に協力することにより、清掃活動や環境美化に関する活動を通じて、地域の環境保全に貢献し、市民への啓発活動を推進することを目的とする。

（協力事項）

第2条 甲及び乙は、前条に定める目的を達成するため、次の各号に定める事項（以下「協力事項」という。）を協力して実施するものとする。

- （1）清掃活動に関する事項
- （2）環境美化等に資する広報・啓発活動に関する事項
- （3）その他前条に定める目的に資する事項

2 協力事項の具体的な内容及びスケジュール等の詳細については、甲及び乙が協議のうえ、決定するものとする。

（有効期間）

第3条 本協定は、甲又は乙のいずれかから協定を解除する旨の申し出のない限り、効力を有するものとする。

（協定の変更又は解約）

第4条 甲及び乙は、相手方が本協定の変更又は解約を申し出たときは、協議のうえ、別途書面にて合意することにより、本協定の内容を変更又は解約をすることができる。

（その他）

第5条 本協定に定めのない事項又は本協定の解釈に疑義が生じた場合には、甲及び乙は、協議のうえ、定めるものとする。

以上、本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲及び乙がそれぞれ記名押印のうえ、各1通を保有する。

令和6年能登半島地震に伴い発生した 災害廃棄物の広域処理における協力について

令和6年能登半島地震の被災地では、損壊家屋等の解体・撤去に伴う災害廃棄物が大量に発生しており、生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る観点から、これらを適正かつ円滑・迅速に処理を進めることが急務となっています。

ついては、令和6年能登半島地震により甚大な被害のあった石川県内の災害廃棄物について、環境省及び石川県からの要請に基づき、東京都・川崎市と連携して支援します。

- 1 広域処理が必要な主な被災市町名
石川県輪島市、珠洲市、能登町、穴水町、七尾市、志賀町
- 2 災害廃棄物等の種類
可燃ごみ（木くずを含む）
- 3 想定処理量
調整中 ※今後の協議により決定
- 4 想定期間
調整中 ※今後の協議により決定



災害廃棄物輸送用コンテナ

- 5 支援内容概要
 - (1) 災害廃棄物輸送用コンテナの提供
東京都・川崎市・横浜市の三者が連携し、石川県内で発生した上記災害廃棄物を鉄道輸送用コンテナの活用により、都内等の貨物ターミナル駅に鉄道輸送で運搬して、都内区市町村等の清掃工場において焼却処理します。
この取組にあたり、川崎市・横浜市が所有する鉄道輸送用コンテナを提供・活用します。
 - (2) 災害廃棄物の市内焼却工場での焼却処理
市内の焼却工場において焼却処理を実施していきます。処理量や開始時期については、今後の協議により決定します。

お問合せ先	
資源循環局総務課長 齊藤 誓	Tel 045-671-2522



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



SDGs 達成・CO₂排出削減に貢献する

「食品ロス削減 SDGs ロッカー」の設置者・食品販売者を募集します！

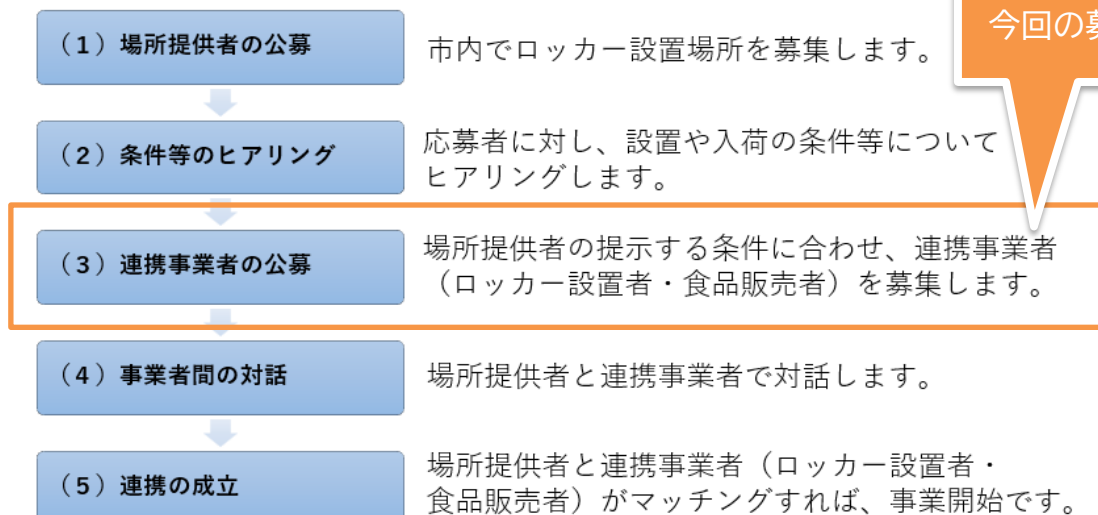
～横浜市はロッカーの設置場所提供者、設置者及び食品販売者のマッチングに取り組んでいます～

横浜市では事業者による廃棄物と CO₂排出を削減するとともに、市民の皆様の食品ロスや CO₂削減に向けた意識醸成及び行動変容につなげるきっかけとするため、食品ロス削減 SDGs ロッカーの設置を進めています。

7月から事業者マッチングによる公募を開始したところ、4事業者5箇所の設置条件が整いました。

それにより、各設置場所について、ロッカー設置者と食品販売者の募集を開始します。

■ 事業スキーム



■ 今後の募集の流れ

- ・今回の募集期間は令和6年8月29日（木）から9月13日（金）までです。
- ・募集及び応募に関する詳細については、ヨコハマ SDGs デザインセンターHPを必ず確認してください。
- ・場所提供者とロッカー設置者、食品販売者の3者で諸条件を協議し、合意した場合にマッチングが成立します。

（参考）記者発表資料（令和6年7月3日）

SDGs 達成・CO₂排出削減に貢献する「食品ロス削減 SDGs ロッカー」を設置しませんか？～横浜市はロッカーの設置場所提供者、設置者及び食品販売者のマッチングを開始します～

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2024/0703locker-koubo.html>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



■ 今回募集を行う設置場所と連携事業者の応募条件の概要

場所提供者・設置場所	ロッカー設置者の条件	食品販売者の条件
(株) 横浜国際平和会議場 パシフィコ横浜地下駐車場 【住所】 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 みなとみらい公共駐車場	①場所提供者に設置料を支払うこと。 ②幅 1200mm×奥行 400mm 以内のロッカーであること。 ③常温保管・キャッシュレス対応・ 2、3 列程度のロッカーであること。	①パンの商品を販売すること。 ②食品ロス削減・SDGs に資 する商品を販売すること。
横浜シティ・エア・ターミナル (株) Y C A T 第 1 ロビー内 【住所】 横浜市西区高島 2-19-12 スカイビル 1 階	①場所提供者に設置料を支払うこと。 ②幅 860mm×奥行 900mm 以内のロッカーであること。 ③常温保管・キャッシュレス対応・ 2 列程度のロッカーであること。	①常温で販売可能な商品を 販売すること。 ②食品ロス削減に資する商 品を販売すること。
(株) 横浜シーサイドライン シーサイドライン新杉田駅改札周辺 【住所】 横浜市磯子区新杉田町 8-1	①原則、場所提供者に設置料を支払 うこと。(協議可) ②ロッカーの大きさは設置者と協議の 上、決定します。 ③冷蔵保管、キャッシュレス対応のロッカ ーであること。(常温保管も協議可)	①販売する商品は指定なし。 ②原則、食品ロス削減・ SDGs に資する商品を販 売すること。
(株) 横浜シーサイドライン シーサイドライン金沢八景駅改札 周辺 【住所】 横浜市金沢区瀬戸 19-30	①原則、場所提供者に設置料を支払 うこと。(協議可) ②ロッカーの大きさは設置者と協議の 上、決定します。 ③冷蔵保管、キャッシュレス対応のロッカ ーであること。(常温保管も協議可)	①販売する商品は指定なし。 ②原則、食品ロス削減・ SDGs に資する商品を販 売すること。
聖マリアンナ医科大学横浜市西部 病院 【住所】 横浜市旭区矢指町 1197-1 1 階待合ホール	①場所提供者に設置料を支払うこと。 ②幅 1260mm×奥行 460mm 以内 のロッカーであること。 ③常温又は冷蔵保管であること。 ④支払方法(現金・キャッシュレス)は 協議の上、決定。(電源あり)	①常温・冷蔵で販売可能な すぐに食べられる商品であ ること。 ②食品ロス削減・SDGs に資 する商品を販売すること。

※募集内容及び応募の詳細については、ヨコハマ SDGs デザインセンターHP を確認してください。

<https://www.yokohama-sdgs.jp/>

お問合せ先		
■ 食品ロス削減SDGsロッカーの設置、SDGsに関すること		
脱炭素・GREEN×EXPO推進局SDGs未来都市推進課長	田村 康治	TEL 045-671-3901
■ 横浜市内の食品ロス削減に関すること		
資源循環局事業系廃棄物対策課担当課長	大島 貴至	TEL 045-671-2558
■ ヨコハマSDGsデザインセンターに関すること		
ヨコハマSDGsデザインセンター総合コーディネーター	石塚 直樹	TEL 050-3749-7415

栄ストックヤードでの粗大ごみの自己搬入に クレジットカードとPayPayが使用できるようになります

令和5年度に実施した「粗大ごみ自己搬入施設での電子決済導入に向けた実証実験」を受けて、令和6年9月24日(火)から、栄ストックヤードでの粗大ごみの自己搬入において、電子決済を本格実施します。現地でのごみ処理料の支払いにクレジットカードと PayPay が使用可能になるとともに、事前申込み不要でお持ち込みができるようになります。

1 概要

現地でのごみ処理料の支払いを可能にすることで、事前申込みや粗大ごみ収集シールを購入する必要を無くし、大幅に利便性を向上させます。

詳しい手順はこちら



2 開始日

令和6年9月24日(火)

3 場所

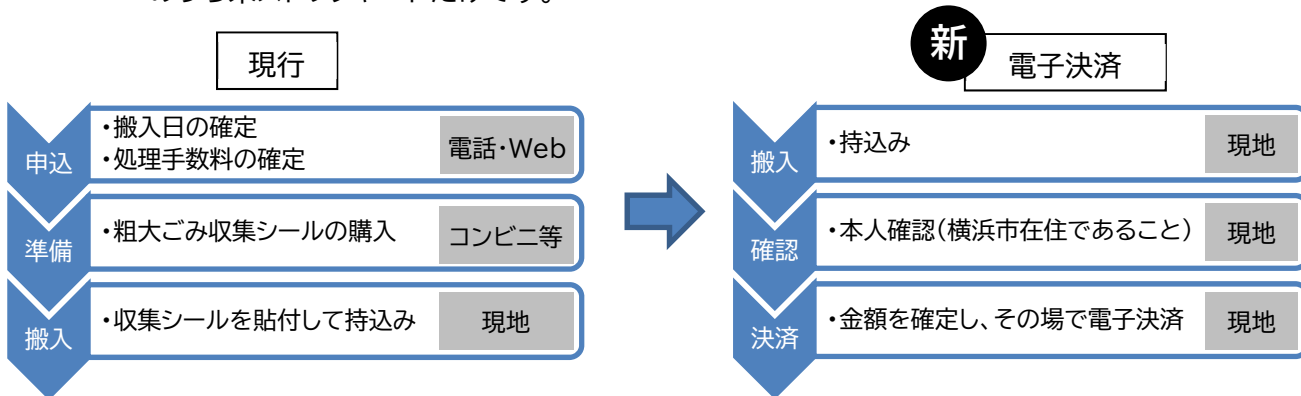
栄ストックヤード(横浜市栄区上郷町 1570-1)

4 ご利用できる電子決済

- (1)クレジットカード(Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners)
- (2)PayPay

5 その他

- 現行の申込方法も継続して実施します。(現行の申込方法で申し込まれた場合は、電子決済の利用はできません。)
- 電子決済が使用可能で事前申込み不要で持ち込めるのは、4 か所ある粗大ごみ自己搬入施設のうち栄ストックヤードだけです。



【参考】粗大ごみ自己搬入施設での電子決済導入に向けた実証実験について(令和5年10月11日)

・粗大ごみ処理手数料支払いにクレジットカードとPayPayが使用できるようになります

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/shigen/2023/1011sodaidensikessai.html>



お問合せ先		
資源循環局業務課長	澤田 亮仁	Tel 045-671-2532



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

～先行9区で10月1日からプラごみの分別ルールが変更！～ プラスチック分別変更をお伝えする10日前イベント等を実施します！

燃やすごみからプラスチックを減らすことは、家庭でできる「脱炭素」行動の大きな一歩です。横浜市では脱炭素社会の実現に向けて、プラスチックの焼却に伴い発生する温室効果ガスを減らす取組として、令和6年10月1日から先行9区（旭区、泉区、磯子区、金沢区、港南区、栄区、瀬谷区、戸塚区、中区）で、プラスチックごみの分別ルールを変更します。（上記以外の9区については、来年4月実施予定）

ついに始まる新たな分別のスタートを前に、先行9区において様々な周知イベント等を実施し、市民の皆さまに分別変更のPR活動を行います。

イベント等の概要

（1）各区の「開始10日前イベント等」（予定）

9月21日（土）に市内9区にてイベント等を実施します。

区名	イベント内容	場所	開催時間
旭区	横浜 四季の森フォレオでのPR活動	旭区上白根3-41-1	10:00～15:00
泉区	①泉公会堂で説明会開催 ②イトーヨーカドー立場店でPR活動 ③ゆめが丘ソラトスでPR活動	①泉区和泉中央北5-1-1 ②泉区中田西1-1-15 ③泉区ゆめが丘31	①10:00～11:00 ②13:00～15:30 ③13:00～15:30
磯子区	相鉄ローゼン磯子店でPR活動	磯子区磯子1-2-1	10:00～12:00
金沢区	イオン金沢シーサイド店でPR活動	金沢区並木2-13-1	13:00～16:00
港南区	①京急百貨店でのPR活動 ②イトーヨーカドー港南台店でのPR活動 （港南・栄事務所との合同実施）	①港南区上大岡西1-6-1 ②港南区港南台3-1-2	①10:00～15:00 ②13:30～15:30
栄区	イトーヨーカドー桂台店でのPR活動	栄区桂台中15-1	10:00～11:00
瀬谷区	イトーヨーカドー三ツ境店でPR活動	瀬谷区三ツ境7-1	11:00～15:00
戸塚区	駅頭でのPR活動	JR戸塚駅	10:00～11:00
中区	駅頭でのPR活動	①JR関内駅 ②JR石川町駅	①12:00～13:00 ②14:00～15:00



店頭でのPR活動の様子



駅頭でのPRの様子

裏面あり

(2) 市庁舎ライトアップ

市庁舎を分別変更の周知で使用している「キービジュアルカラー」のブルーにライトアップします。

【実施期間】 9月29日（日）～30日（月）

【ライトアップ時間】 17：00 ～ 22：00

横浜市の知らせ
**プラスチックごみの
出し方が変わります**

キービジュアル



横浜市政府

【参考：プラスチックごみの分別ルールの変更とは ～よりわかりやすい分別へ～】

“プラスチック製容器包装”に、新たに「プラスチックのみでできている“プラスチック製品”」を加えて「プラスチック資源」としてお出しいただけます。収集されたプラスチック資源はリサイクルされ、新たな製品に生まれ変わります。収集日の変更はありません。

なお、令和7年4月からは、全市18区でプラスチック分別変更を実施します。

プラスチック資源 「プラスチック製容器包装」の収集日が「プラスチック資源」の収集日に変わります

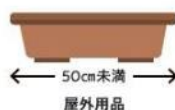
プラスチック製 容器包装

このマークが目印です



NEW プラスチック製品

一番長い辺が50cm未満の
プラスチックのみでできたもの



風呂、洗面用具など



調理器具・台所用品



文房具・おもちゃなど



その他日用品（ハンガーなど）

お住まいの区によって、実施時期が異なります

令和6年
10月～

旭区 泉区 磯子区 金沢区
港南区 栄区 瀬谷区 戸塚区 中区

令和7年
4月～

全市18区



詳しい出し方は
こちらをご覧ください

お問合せ先

資源循環局業務課プラスチック分別推進担当課長

倉田 力

Tel 045-671-2308

マイボトル専用コーヒーサーバーの活用に関する 実証実験を開始します

脱炭素社会の実現に向け、使い捨てプラスチックの削減や適切な分別・リサイクルなど、温室効果ガスの排出につながるプラスチックごみの削減を進めることは、世界共通の課題となっています。

このたび、共創フロントを通じてご提案いただき、味の素AGF株式会社、株式会社アペックス、横浜市は、株式会社アペックスが開発したマイボトル・マイカップに対応したコーヒーサーバーを活用し、マイボトル利用促進を図ることを目的とした実証実験を開始します。

1 実証実験の概要

- 実施場所：市庁舎 18 階ロビー
- 実施期間：令和6年9月17日（火）午後～12月13日（金）
- 提供内容：コーヒー、紅茶、烏龍茶（全てホット・アイス選択可）
Mサイズ：100円 / Lサイズ：200円
- 検証内容：事業採算性及びマイボトル専用コーヒーサーバーの利用ニーズ
- 公民連携の役割
 - ・味の素AGF株式会社：コーヒー豆の供給、利用促進パネルの提供
 - ・株式会社アペックス：コーヒーサーバー、製氷機の提供
 - ・横浜市：実証実験フィールドの提供、利用促進にかかる広報



2 市庁舎におけるマイボトルスポット※ 登録状況

- 9月5日（木）から「フレッシュネスバーガーLUXS FRONT 店」を新たにマイボトルスポットに登録しました。

フレッシュネスバーガーとしては、日本初のマイボトル対応店舗となります。

これにより、市庁舎内に入店しているカフェ4店舗でマイボトルの利用が可能となります。



フレッシュネスバーガーLUXS FRONT 店

※マイボトルスポット：コーヒーや水等を、お客さまのマイボトルに入れて販売したり、無料で提供したりする店舗や場所。市庁舎内では「marine blue（3階）」「HAMARU（2階）」「スターバックスコーヒー（1階）」「フレッシュネスバーガー（1階）」が登録。

裏面あり

【参考】マイボトル専用コーヒーサーバー（CS-3）の特徴について

■本格ドリップ

コーヒーやお茶などの最適な抽出レシピにより、本格的な飲み物を楽しむことができます。

■マイボトル等に対応

マイボトルやタンブラー等に対応可能な抽出口の構造となっており、概ね165ml～500mlのボトル・タンブラー等に対応

■キャッシュレス対応

交通系や電子マネーに加えてQRコード決済も可能です（現金は使用できません）。

お問合せ先

資源循環局 3R推進課長 今村 貴美 Tel 045-671-2563

ごみ焼却工場と南本牧最終処分場で キャッシュレス決済を導入します！

ごみ焼却工場及び南本牧最終処分場に、ごみを搬入した際に発生する手数料（一般廃棄物処理手数料及び産業廃棄物処分費用）の現地での支払い手段に、キャッシュレス決済を導入します。なお、現行の現金払い及び後納払いについては、引き続き取り扱います。

1 利用開始日

令和 6 年 10 月 7 日（月）から

2 利用できる施設

- ・ 鶴見工場（鶴見区末広町1丁目15番地1）
- ・ 旭工場（旭区白根2丁目8番1号）
- ・ 金沢工場（金沢区幸浦2丁目7番地1）
- ・ 都筑工場（都筑区平台27番1号）
- ・ 南本牧最終処分場（中区南本牧4番地）



3 利用できるキャッシュレス決済

カード決済、電子マネーについては10月7日から利用可能です。コード決済については、今後利用可能となり次第、順次 HP 等でお知らせします。

カード決済	Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners Club
電子マネー	交通系電子マネー(9種類)、iD、QUICPay、WAON、楽天Edy、nanaco
コード決済	楽天ペイ、d払い、PayPay、メルペイ、au PAY、ゆうちょ Pay、Alipay、WeChat Pay

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



4 ご利用の注意

- ・ クレジットカードでのお支払いは、「1回払い」のみです。
- ・ 現金払いとキャッシュレス決済、あるいは複数のキャッシュレス決済による併用はできません。
- ・ 窓口でのチャージはできません。
- ・ ギフトカードはご利用できません。
- ・ 支払い手続完了後の返金はできませんのでご注意ください。
- ・ 会計時に、ご利用になる決済のブランド等を職員にお伝えください。
- ・ アプリのダウンロード・ご利用にかかる通信料は、利用者のご負担となります
- ・ 決済サービスに関するスマートフォンアプリの設定等に関するお問い合わせは、各事業者へお願いします。

※「iD」は、株式会社 NTT ドコモの商標です。

※「楽天 Edy（ラクテンエディ）」は、楽天 Edy 株式会社が運営するプリペイド型電子マネーです。

※「nanaco」は、株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。

※「WAON」は、イオン株式会社の登録商標です。

※「QUICPay+™（クイックペイプラス）」は、株式会社ジェーシービーの登録商標です

※「楽天ペイ」は、楽天グループ株式会社の登録商標です。

※「d 払い」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

※「メルペイ」は、株式会社メルカリの登録商標です。

※「au PAY」は、KDDI 株式会社の登録商標です。

※「ゆうちょ Pay」は、日本郵政株式会社の登録商標です。

※「Alipay」は、アリババグループホールディングスリミテッドの登録商標です。

※「WeChat Pay」は、テンセントホールディングスリミテッドの登録商標です。

お問合せ先			
【各焼却工場に関する事】	資源循環局施設課長	荒井 昌典	Tel 045-671-2527
【南本牧最終処分場に関する事】	資源循環局処分地管理課長	秋山 高広	Tel 045-671-2534



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



「進メエ〜！未来へ 3つのRで」 大都市共同キャンペーンを実施します！



横浜市では、ごみと資源の総量等を削減するため、3 R（スリーアール）の取組を推進しています。

今年も 10 月の 3 R 推進月間※を中心に、大都市（14 政令指定都市、東京 23 特別区）が連携して「大都市減量化・資源化共同キャンペーン」を行い、市民・事業者の皆様に 3 R 行動の実践を呼びかけます。

※ 3 R に対する理解と循環型社会の形成の取組を推進することを目的として、国が定めた月間（10 月 1 日から 10 月 31 日）です。

実施内容

- ◆ キャンペーン期間中、市内公共施設等に啓発ポスターを掲出します。
- ◆ 各種イベント等を実施し、啓発物品を配付します。
- ◆ キャンペーン実施場所等、最新情報は横浜市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/sonota3/r6daitoseicampaign.html>



今年配付する啓発物品
「保冷バッグ」

SHAUN THE SHEEP AND SHAUN'S IMAGE ARE TM
AARDMAN ANIMATIONS LTD. 2024

※啓発物品は、なくなり次第終了となります。

キャンペーン参加都市

札幌市・さいたま市・千葉市・東京 23 特別区・横浜市・川崎市・相模原市・浜松市・名古屋市・
大阪市・岡山市・広島市・北九州市・福岡市・熊本市

※大都市減量化・資源化共同キャンペーン実行委員会参加都市による同日記者発表

お問合せ先		
資源循環局 3 R 推進課長	今村 貴美	Tel 045-671-2563



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



令和6年度大都市減量化・資源化共同キャンペーン実施概要

現在の社会は、豊かで便利な反面、大量生産・大量廃棄型の社会経済システムによる使い捨て文化を生み出し、ごみの急激な増加をもたらしました。今やごみの問題は、資源保護や地球環境保全の面からも、各自治体が緊急に対処しなければならない重要な課題の一つとなっています。

このような状況の中で、20政令指定都市及び東京23特別区の清掃事業担当部門で構成する「大都市清掃事業協議会」の中に「減量化・資源化担当課長会議」を設置し、ごみの減量化・資源化に向けた様々な検討や情報交換を行っています。さらに、ごみの減量化・資源化の推進は、継続的に取り組まなければいけないとの共通認識に基づき、平成4年度から大都市が連携して「ごみの減量化・資源化」に対する市民・事業者の意識啓発を図ることを目的として、共同キャンペーンを実施しています。

33回目となる今回は、森林管理認証（FSC認証）を取得した用紙、バイオマスインクを使用し、グリーンプリンティング認定を受けた工場で再生可能エネルギーを用いて印刷されるなど、細部まで環境に配慮したオリジナルポスターと、リサイクルPETを使用した保冷バッグを10月の3R推進月間から掲出・配布を開始し、より多くの方にリデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）をPRしていきます。

記

- 1 デザインの趣旨：別紙「令和6年度大都市減量化・資源化共同キャンペーンメインビジュアルの趣意について」のとおり
- 2 使用媒体：ポスター 8,300枚 | グッズ 17,000個
※ポスターは各都市の公共施設や公共機関等に掲出します。
グッズは、環境に関するイベント等で配布します。
- 3 実施期間：令和6年10月1日から10月31日まで（3R推進月間）
- 4 政策事業費：14,528,140円（消費税及び地方消費税額を含む）
- 5 事業主体：令和6年度大都市減量化・資源化共同キャンペーン実行委員会
（各都市ごみ減量化・資源化担当課長で構成）
- 6 キャンペーンエリア：札幌市・さいたま市・千葉市・東京23特別区・横浜市・川崎市・相模原市・浜松市・名古屋市・大阪市・岡山市・広島市・北九州市・福岡市・熊本市

令和6年度大都市減量化・資源化共同キャンペーン メインビジュアル趣意について

「ひつじのショーン」といっしょに、幸せな世界へ。
3Rで進んでいこう。

ポスターデザイン 見る人の目を惹きつけ、人と自然との共存を意識させ、ユーモアを感じながら理解できるデザイン



「ひつじのショーン」は、クレイで作られたパペットを1コマずつ動かして写真撮影しそれらを繋ぎあわせて、動きを生成していく「ストップモーション・アニメーション」。1日に撮影できる映像は僅か約15秒と、非常に丁寧にハンドメイドされた作品です。ハイクオリティな品質とナチュラルな世界観、温かみのあるユーモアの中で3Rが実現する、私たち人類が求める、しあわせな未来を伝えます。

キャッチコピー

進メエー！未来へ 3つのRで

「知っていること、正しいこと、だけど、ちょっと疎かにしてしまっていること」
上から言われるよりも、目の高さで言われたほうが、素直に受け入れやすい。

3Rはそんな存在ではないでしょうか。

ちょっととぼけたダジャレも交えながら、肩ひじ張らずに3Rを伝えることを狙いました。

令和6年度大都市減量化・資源化共同キャンペーン メインビジュアル趣意について

「ひつじのショーン」といっしょに、幸せな世界へ。
3Rで進んでいこう。

保冷バッグ(ポーチ) お弁当やマイボトルを持ち運ぶのに最適な保冷バッグです。



◎3つのRと非常に親和性が高い我が国の文化「お弁当」に着目しました。

◎みんなに愛されている「ひつじのショーン」の絵柄によって、職場・学校さまざまなランチの場で「そのバッグかわいいね」「3Rって書いてあるね」「3Rって、リサイクルとリユースと…」などなど、多くの人に使っていただくことで、自然と啓蒙が広がっていく、働き者のグッズをめざしました。



起用キャラクター「ひつじのショーン」について

ショーンと仲間たちが牧場で繰り広げる大騒動を描いています。名作『ウォレスとグルミット 危機一髪!』(1995年/英)に初登場し人気が出たショーンを主人公にした、スピンオフ作品として「ひつじのショーン」(2007年/英)が放送開始されました。

クレイという粘土で作られたパペットを動かして、1コマずつ写真を撮影しそれをつなげていく形式で撮影されたストップモーション・アニメーションで、誰でも楽しめるセリフのないノンバーバル作品として、世界170カ国で放送されています。

ひつじのショーンは環境を大切にしています。キャラクターに命を吹き込む制作現場からグッズやノベルティまで、環境に配慮した活動を行っています。

公式サイトURL:<https://www.aardman-jp.com/shaun/>



みなとみらい21地区におけるペットボトルの ボトル to ボトルリサイクル事業の提案事業者を募集します

みなとみらい21地区は、横浜市と一般社団法人横浜みなとみらい21(以下「YMM」という。)との共同提案により、2022 年4月に環境省から「脱炭素先行地域」に選定され、脱炭素化に関する様々な取組を進めています。

2023 年度には、施設から回収した使用済みペットボトルを新たにペットボトルに再生するボトル to ボトルの実証実験に地区内等の37施設と連携し、新たなリサイクルにチャレンジしてきました。

この度、実証実験の結果を踏まえ、事業の本格開始を行うため YMM は地区内の各施設と連携し、「みなとみらい21地区におけるペットボトルのボトル to ボトルリサイクル事業」の提案事業者を募集します。

1 募集内容

- ・ 本事業は、飲料メーカー等により、使用済みペットボトルを新たなペットボトルにリサイクルすることを目的とします。使用済みペットボトルの排出量等の条件については募集要項をご確認ください。
- ・ 本募集は、参加施設から使用済みペットボトルを巡回一括回収し、ボトル to ボトルリサイクルを行う提案事業者を募集するものです。
- ・ 本事業で回収する使用済みペットボトルは、再生ペットボトルの原材料(有価物)として取り扱うため、回収から再製品化されるまでの一連の工程の適切な管理を求めます。
- ・ 事業期間は、2027 年3月末までとします。期間満了後は、提案事業者を新たに公募のうえ、本事業を継続実施予定とします。

2 スケジュール

日程	内容
2024年10月8日(火)	公募開始
2024年10月15日(火)	質問書提出期限
2024年10月22日(火)	質問書に対する回答
2024年11月12日(火)	提案書提出期限
2024年11月中旬～下旬	ヒアリング、審査・選定
2024年12月	詳細協議、協定等の締結
2025年1月以降	事業開始

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

3 募集要項等

募集要項は、以下みなとみらいエリアマネジメントサイトをご覧ください。

URL: <https://www.ymm21.jp/news/press/202221.php>



4 脱炭素先行地域とは

2050 年カーボンニュートラルに向けて、「地域脱炭素ロードマップ」に基づき環境省が公募する地域で、2030 年度までに「民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴う CO2排出の実質ゼロ」などの要件を地域特性に応じて実現する地域です。

41 の参画施設・事業者や脱炭素先行地域における取組はこちらをご覧ください

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/senkouchiiki.html>



(参考)令和6年1月30日記者発表「みなとみらい21地区でペットボトルの「ボトル to ボトル」リサイクル実証実験を開始しました！」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2023/20240130mm21btob.html>



(参考)令和5年11月16日記者発表「みなとみらい21地区でペットボトルのボトル to ボトルに挑戦！」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2023/20231116mm21btob.html>



お問合せ先			
(脱炭素先行地域の全般に関すること)	横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局 カーボンニュートラル事業推進課長	松下 功	Tel 045-671-2636
(事業者募集に関すること)	(一社)横浜みなとみらい21 企画調整課長	平山 美智雄	Tel 045-682-4404



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



資源循環局金沢工場ネーミングライツスポンサー公募について 提案内容への意見募集を行います

資源循環局金沢工場について、令和6年7月12日～8月9日にネーミングライツスポンサーの公募を行い、優先交渉権者が決定しました。この度、「横浜市ネーミングライツ導入」に関するガイドラインに基づき、市民の皆様から本提案内容についての御意見を募集します。

1 提案内容の概要

(1) 提案者

J F Eエンジニアリング株式会社
(横浜本社) 横浜市鶴見区末広町二丁目1番地
(代表者) 代表取締役 福田 一美
(主要事業) 総合エンジニアリング事業等

(2) 愛称案

J F E横浜金沢マリンエネルギーセンター
(英語表記: J F E Yokohama Kanazawa Marine Energy Center)

(3) 提案金額

年間77万円(税込み)
※愛称使用期間は、令和7年4月からの5年間として公募しました。

(4) 地域貢献等への提案

地域の児童に向けた、出前授業などを通じた持続可能な社会の実現にかかわる環境学習の機会の提供 ※詳細については、今後市と調整

2 意見募集・お問合せ先

(1) 募集期間

令和6年10月15日(火)から11月1日(金)まで

(2) 募集方法

郵便・FAX・電子メールで御意見を募集します。様式は自由です。

【郵便】〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10(23階)

横浜市資源循環局施設課 管理係宛

※11月1日(金)の消印有効とします。

【FAX】045-664-9490

【電子メール】sj-shisetsu@city.yokohama.lg.jp

(3) 問い合わせ

横浜市資源循環局施設課 TEL 045-671-2518

【URL】

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/shokai/shokyaku/namingrights.html>



▲詳細はこちらから

3 導入までの流れ

今回の市民意見聴取を経て、契約条件を協議したうえで契約します。



参考 資源循環局金沢工場の概要

横浜市の家庭系ごみと事業系の一般廃棄物を焼却処理している工場です。ごみの焼却に伴い発生する蒸気を有効活用し、蒸気タービン発電機による発電を行うほか、工場に併設した温水プールに熱を供給しています。

- ・所在地：横浜市金沢区幸浦二丁目7番地1
- ・竣工：平成13年3月
- ・処理能力：1,200トン／日（400トン／日×3炉）



資源循環局金沢工場外観

お問合せ先		
資源循環局施設課長	荒井 昌典	Tel 045-671-2527

＼ 横浜・元町のオリジナルバッグブランド「キタムラ」とコラボ / オリジナルマイバッグ【第5弾】 販売開始！

横浜市では、脱炭素社会の実現に向け、プラスチック対策の推進に特に重点を置いた「ヨコハマ プラ 5.3（ごみ）計画」を令和 6 年 1 月に策定しました。

このたび、新プラン策定をきっかけとして、レジ袋などの使い捨てプラスチックの削減や環境意識の向上につなげることを目的に、株式会社キタムラからオリジナルマイバッグ第 5 弾の提案をいただきました。

今回は、環境に優しい素材を初めて使用したオリジナルバッグとなっています。横浜らしいマリンテイストなボーダー柄のおしゃれなバッグで、ぜひ環境行動を実践してみてください！

※本バッグのデザイン・仕様は、6 月の市民参加型アンケートにて決定しました。

※本バッグを購入された方には、プラスチック問題に関する啓発メッセージカードを配布します。



横浜市資源循環局マスコット
イーオ・ミーオ

ペットボトルリサイクル繊維 100%使用

マイボトルが入るサイドポケット付き

内ポケットに「キタムラ」×「横浜市資源循環局マスコット イーオ・ミーオ」のラベルを縫製

◇ 販売概要 ◇

(1) 販売開始日

令和 6 年 10 月 18 日（金）

(2) 販売価格

5,000 円（税込）

(3) 販売場所

キタムラ市内 5 店舗（元町本店・横浜そごう店・横浜高島屋・ランドマーク店・桜木町シャル店）

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【参考】キタムラと連携したこれまでのオリジナルマイバッグ

【第1弾】平成15年（G30）



【第2弾】平成19年（G30）



【第3弾】平成24年（3R夢）



【第4弾】平成30年（3R夢）



お問合せ先

横浜市資源循環局 3R推進課長 今村 貴美 Tel 045-671-3593



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



市内の廃棄物処理業者が「横浜市資源循環推進プラットフォーム」を発足！

～横浜市と連携協定を締結し、動静脈連携の取組を促進します～

市内の廃棄物処理業者7社が中心となり、「横浜市資源循環推進プラットフォーム」を新たに発足しました。このプラットフォームでは、市内において動脈産業※1と静脈産業※2が連携した取組を促進し、資源循環産業を活性化させるとともに、本市の資源循環施策の推進も図ります。

本市は、プラットフォームを立ち上げた7社と連携協定を締結し、プラットフォームの運営等を支援していきます。

また、令和6年11月27日にキックオフイベントを開催し、プラットフォームの発足を広く発信します。

※1 製品の製造等を行う産業

※2 製品が廃棄物等となった後にリサイクル等を行う産業

1 プラットフォームの概要

(1) 名称

横浜市資源循環推進プラットフォーム ※ 略称「YRCプラットフォーム」
(Yokohama City Platform for Resource Circulation)



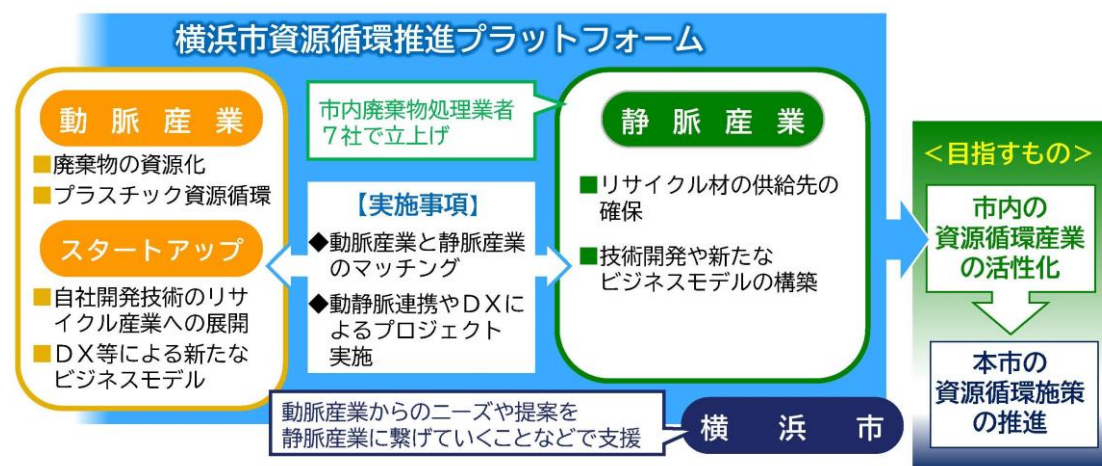
(2) 幹事会社（各社の紹介は別紙1を参照）

株式会社グリーン、株式会社春秋商事、J&T環境株式会社、横浜環境保全株式会社、
武松商事株式会社、株式会社ケイ環境企画、ecomate 有限会社[11/1に佐藤清掃(株)から社名変更]
(いずれも公益社団法人神奈川県産業資源循環協会の会員又は横浜市一般廃棄物許可業協同組合の組合員)

(3) 実施事項

- ① 動静脈連携※3による取組の実施に向けた個別プロジェクト
- ② 脱炭素化・資源循環の推進に資する技術の開発・実用化に向けた個別プロジェクト
- ③ その他、脱炭素化・資源循環の推進に向けた取組であって、プラットフォームの目的に資するもの

※3 「動脈産業側の再生資源確保」と「静脈産業側の再生原料供給」が有機的に連携した資源循環



【裏面あり】



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

2 キックオフイベントについて

(チラシは別紙2を参照)

- (1) 日 時 令和6年11月27日(水) 13時00分～16時00分 (開場12時30分)
- (2) 場 所 Vlag yokohama (フラグヨコハマ)
横浜市神奈川区鶴屋町1丁目41番 THE YOKOHAMA FRONT 42 階
- (3) 定 員 100名(事前申込制・参加費無料)

- (4) プログラム内容 講演、パネルディスカッション

参加申込 URL <https://forms.gle/o6sAVM9sdiGUALnW8>



- (5) 当日の取材について

資源循環局事業系廃棄物対策課へメールで事前にお申し込みください。

◆メー ル: sj-genryo@city.yokohama.lg.jp

◆申込期日: 令和6年11月22日(金)17時15分まで

プラットフォームの発足に合わせて、本市の資源循環施策を拡充します！

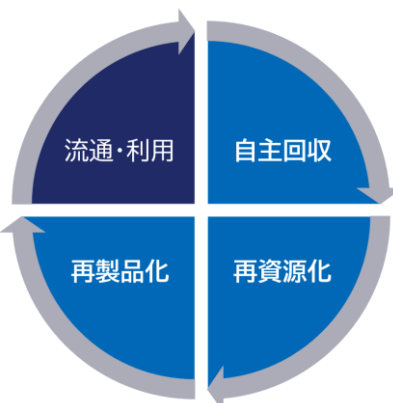
■横浜市において「使用済みプラスチック使用製品を再製品化の原材料とする条件」を公表 ～製造・販売事業者等によるプラスチックの自主回収に係る取組を促進します～

本市では、使用済みプラスチック使用製品の自主回収・再製品化事業であり、次の条件1～3を全て満たす場合は、当該事業で回収する使用済みプラスチック使用製品を廃棄物ではなく原材料(有価物)とすることで、円滑な流通を図ります。

条件1 使用済みプラスチック使用製品を有価又は無償で引き取る
とともに、回収時点で悪臭等衛生上の問題がなく、原材料としての
価値が認められること。

条件2 使用済みプラスチック使用製品の回収から再製品化される
までの一連の工程が自主回収事業者によって統括的に管理がさ
れ、実証実験等において適正な実施が担保されていること。

条件3 事業全体として、自主回収事業者が行う原材料調達及び加
工委託とみなせること。



■「横浜市廃棄物を使用した試験研究に関する要綱」を制定

～民間事業者による先進的な取組を支援します～

本市において廃棄物を使用した試験研究(社会実証を含む)を行う場合は、試験研究の実施計画書の提出により、実施期間中における廃棄物処理法に係る一部許可等の省略を認めています。本要綱では、実施計画書の提出書類や審査基準を定めています。

上記条件及び要綱に係る詳細は、本市ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/gomi-recycle/sangyo/haishutsu/10jikken.html>



お問合せ先

資源循環局事業系廃棄物対策課担当課長 大島 貴至 Tel 045-671-2558



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



幹事企業のご紹介

 <p>(前列左から)ecomate(株)、J&T環境(株)、(株)グーン、(株)春秋商事 武松商事(株)、(株)ケイ環境企画、横浜環境保全(株) (後 列)横浜市資源循環局事業系廃棄物対策部長</p>	<p>株式会社グーン (金沢区鳥浜町 17 番地 3)</p> <p>代表取締役 <small>ふじえだ けんじ</small> 藤枝 慎治</p> <p>[公益社団法人神奈川県産業資源循環協会会長]</p> <p>「Circulating Value」をコンセプトに、国内有数の廃棄物再資源化設備等を有し、フィリピンをはじめとする海外展開を推し進め、同時に環境負荷の低減を目標に CDP の取組などを実施しています。</p> 
<p><small>しゅんじゅうしょうじ</small> 株式会社 春秋商事 (都筑区川向町 1160 番地)</p> <p>代表取締役 <small>かい りくじろう</small> 甲斐 陸二郎</p> <p>[横浜市一般廃棄物許可業協同組合理事長]</p> <p>横浜北部を基点として 50 年以上、地域のリサイクルの推進と循環型社会の実現をサポートして参りました。プラスチックの有効利用として RPF の製造も 10 年以上続けており、芝砂分離装置やびん缶ペットボトルの分離装置なども自社開発して、顧客様の問題を解決しています。また、一般廃棄物部門では横浜市より 3 年連続して一般廃棄物収集運搬業優良事業者として表彰されました。</p> 	<p><small>かんきょう</small> J & T 環境株式会社 (鶴見区弁天町 3 番地 1)</p> <p>代表取締役 <small>はせがわ ひろゆき</small> 長谷場 洋之</p> <p>使用済み PET ボトルの水平リサイクル、食品廃棄物のダブルループリサイクル (電力・肥料化)、使用済みプラスチックの選別・再商品化一貫事業等、先進的な取組を通じ、地球温暖化対策、サーキュラーエコノミーの実現に貢献致します。</p> 
<p><small>よこはまかんきょうほぜん</small> 横浜環境保全株式会社 (中区山下町 209 番地)</p> <p>代表取締役 <small>たかはし よしかず</small> 高橋 義和</p> <p>「未来、そして子供たちのために環境保全事業を通して地域社会に最も貢献する」をミッションとし、横浜を中心に廃棄物処理を行っております。飲食店等から回収した生ごみを有機 100% 堆肥に再生し、横浜の水源である山梨県道志村の農家の方々などに提供し、生産された野菜が横浜の飲食店等で提供される食の循環「フードループ」など資源循環の取り組みを進め、より地球規模でお役に立てる会社、地域健康貢献企業を目指します。</p> 	<p><small>たけまつしょうじ</small> 武松商事株式会社 (中区山下町 105 番地)</p> <p>代表取締役 <small>おぐら しんや</small> 小椋 真哉</p> <p>長年、廃棄物の収集運搬、中間処理を行って参りました。分別文化が定着し地球規模で環境負荷低減活動が求められている新たなステージにおいて、さらなるリサイクルの促進と、不用品を単なる“ごみ”として処理するのではなくリユース品として活用することも含めた総合資源循環事業を目指しています。</p> 
<p><small>かんきょうきかく</small> 株式会社ケイ環境企画 (南区六ツ川二丁目 109 番地 6)</p> <p>代表取締役 <small>かとう ひさのり</small> 加藤 寿規</p> <p>～未来へ、環境と資源を考える～</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 一般・産業廃棄物・感染性廃棄物収集運搬処理 ◆ 古物商 ◆ 一般区域貨物自動車運送 ◆ イベント企画立案及び実施運営 	<p><small>エコメイト</small> ecomate有限会社 (金沢区福浦 2-18-16)</p> <p>代表取締役 <small>かなもり かずや</small> 金森 和哉 ※11/1 に佐藤清掃有限会社から社名変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬 ・産業廃棄物中間処理 ・廃プラスチックの循環型リサイクル 



横浜市資源循環推進プラットフォーム

脱炭素型 循環経済への第一歩

— 環境と経済の両立に向けた挑戦 —

キックオフイベント開催

脱炭素社会の実現に向け、横浜市と市内廃棄物処理業者が連携して、「横浜市資源循環推進プラットフォーム」を立ち上げます。
プラットフォームでは、市内の動静脈連携*の推進及びリサイクル技術の開発・実用化に取り組んでいきます。

脱炭素社会、サーキュラーエコノミー、再生材の活用に興味関心がある方、「リサイクルしたいけどよくわからないな」とお悩みの方、キックオフイベントに参加して、脱炭素型循環経済への第一歩を一緒に踏み出してみませんか。

※ 製品の製造等を行う動脈産業と製品が廃棄物等となった後にリサイクル等を行う静脈産業の連携

参加費無料

先着 **100** 名様

プログラム詳細

第1部 「プラットフォームが目指す姿」 株式会社グリーン

第2部 講演

- 「製造メーカーとしての廃棄物削減と現状」(ZACROS株式会社)
- 「J&T環境が取り組む脱炭素型資源循環事業について」(J&T環境株式会社)
- 「動静脈産業をつなぐDX」(レコテック株式会社)

第3部 パネルディスカッション

環境省、経済産業省の方をゲストにお招きし、
『環境と経済の両立に向けた挑戦』をテーマに議論します。

開催日時

11/27^水

開催時間

13:00 - 16:00
(開場12:30)

会場

横浜駅きた西口徒歩3分

lag yokohama フラグヨコハマ
(THE YOKOHAMA FRONT 42階)
横浜市中区鶴屋町1丁目41番

参加をご希望の方

お申し込みはこちら ▶
<https://forms.gle/o6sAVM9sdiGUALnW8>



お申し込みの締切日
11月22日(金)

予定人数に達した場合は、応募を締め切らせていただく場合がございます。

主催 横浜市資源循環推進プラットフォームイベント事務局

協力

lag yokohama

横浜市資源循環推進プラットフォーム

キックオフイベント開催

脱炭素型循環経済への第一歩

—環境と経済の両立に向けた挑戦—

登壇企業の紹介



第1部 「プラットフォームが目指す姿」



株式会社グーン

木くずやプラスチックのリサイクル事業を行う企業。東南アジアの新興国を中心に、廃棄物に関する様々な調査を実施し、フィリピンセブ島にプラフ燃料の製造工場を建設するなどグローバルに活躍する。

第2部 「製造メーカーとしての廃棄物削減と現状」



ZACROS株式会社

偏光板保護フィルムとバックインボックスは世界トップシェア、シャンプーやリンスなどの詰め替え用パウチとトンネル用防水シートの国内トップシェアを誇る企業。資源循環社会を創るためリサイクルしやすい単一素材の製品開発を行うなど、サーキュラーエコノミーに取り組む。

「J&T環境が取り組む脱炭素型資源循環事業について」



J&T環境株式会社

グループネットワークを活用した総合資源化リサイクル事業を行う企業。食品廃棄物を電力と肥料に戻すダブルリサイクルループに取り組んでおり、2025年4月には首都圏最大級となる処理能力を有するプラスチックリサイクル施設が本格稼働する。

「動静脈産業をつなぐDX」

RECOTECH

レコテック株式会社

「ネイチャーポジティブな経済発展ができる社会をつくる」をVisionに掲げるClimate Tech Startup。サーキュラーエコノミーを実現するデータプラットフォーム「pool」は、リサイクル材料を活用したい製造業者と排出事業者を繋ぎ合わせて循環型サプライチェーンをデザインする。

アクセス

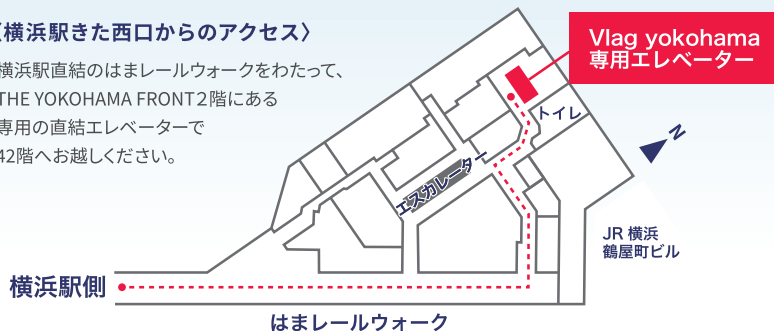
- 東急東横線・みなとみらい線・JR各線「横浜駅」きた西口徒歩3分
- 市営地下鉄ブルーライン「横浜駅」徒歩8分
- 相鉄本線「横浜駅」徒歩9分

※ホール専用の駐車場・駐輪場はありません。

※THE YOKOHAMA FRONTの駐車場・バイク置場・駐輪場をご利用ください。

〈横浜駅きた西口からのアクセス〉

横浜駅直結のはまレールウォークをわたって、THE YOKOHAMA FRONT 2階にある専用の直結エレベーターで42階へお越しください。



お問合せ

横浜市資源循環推進プラットフォーム
イベント事務局

プラットフォーム専用
お問い合わせ ▶



イベントのお申し込みは
こちら ▶



令和6年度「横浜市食の3R きら星活動賞」 受賞者を決定しました

横浜市では、食品廃棄物の発生抑制、再生利用、啓発等で、他の模範となる取組を行い、顕著な功績を挙げている事業者等を表彰し、その取組を広く紹介することにより、食品廃棄物のより一層の削減を図ることを目的に「横浜市食の3Rきら星活動賞」を実施しています。

令和6年度は、次の2事業者を受賞者として決定しました。

麒麟ビール株式会社 氷結チーム JA 横浜 果樹部



横浜のブランド梨「浜なし®」の規格
外果実を使ったお酒(チューハイ)の企
画・製造・販売。

株式会社アルファロッカーシステム



賞味期限内でありながら廃棄されて
しまう売れ残りパンの販売にロッカー
型自販機を活用するサービスの開発。

※ 取組内容の詳細は別紙をご覧ください。

●取材について

受賞者に対して個別に表彰を行いました。表彰時の写真は提供可能です。
また、受賞者への取材希望の方は、下記お問合せ先までご連絡ください。

お問合せ先

資源循環局事業系廃棄物対策課担当課長 大島 貴至 Tel 045-671-2558



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

1 キリンビール株式会社 氷結チーム・JA 横浜 果樹部

モッタイナイ！を、おいしい！に。～浜なしの規格外果実を使ったお酒～

キリンビール株式会社は、規格外果実を有効利用することで、食品ロスを削減するために「氷結®mottainai プロジェクト」を立ち上げました。その第1弾として、JA 横浜 果樹部の提供する横浜のブランド梨「浜なし®」の規格外果実を原料としたお酒(チューハイ商品)「キリン 氷結®mottainai 浜なし」を開発・販売しました。



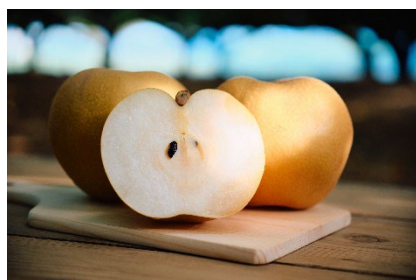
〈規格外果実を廃棄しない〉

氷結®ブランドでは、これまで約 100 種類の果実を利用して商品づくりを行ってきました。果実が必要不可欠なブランドだからこそ、果実農家に貢献したいという思いから、規格外果実の有効利用などの課題解決に取り組む「氷結®mottainai プロジェクト」が立ち上がりました。

〈モッタイナイ！を、おいしい！に。幻の梨を救え！〉

原料としての氷結®との相性、また横浜がキリンビール発祥の地というゆかりから、横浜のブランド梨「浜なし®」が選ばれました。「浜なし」は、ほぼ全量が直売等で販売されるため、「幻の梨」とも言われます。樹上で完熟させてから収穫されるのが特徴ですが、一方で熟しすぎて食感が柔らかくなりすぎる「みつ症」が出やすくなってしまい、出荷できない規格外果実がどうしても出てしまいます。

そういった食べられるのに廃棄されてしまう「浜なし」を利用した氷結は大好評で、約 27 万箱(350ml 換算)を販売し、約3万4千個分の規格外浜なしが活用されました。(8月末日時点)



みつ症の浜なし



キリン 氷結®mottainai 浜なし

キリンビール株式会社 氷結チームと
JA 横浜 浜なし農家の皆様

〈飲むだけで社会貢献！消費者の意識も変える、新しい氷結〉

キリンビール株式会社では、氷結®の売り上げの一部を農家に寄付することで、農業全体への長期的な支援に繋げています。また、氷結®mottainai プロジェクトは若い世代を中心に高い評価を得ており、規格外農作物について幅広い層へ知ってもらうきっかけとなっています。

●表彰時の写真

(左) JA 横浜 果樹部 部長
やまもと しげき
山本 成樹 様

(右) キリンビール株式会社
かとう まりこ
加藤 麻里子 様



JA 横浜 果樹部、
キリンビール株式会社
氷結チームの皆様

2 株式会社 アルファロッカーシステム

～ロッカー型自販機を使用して店舗の閉店後にもパンを販売～

株式会社アルファロッカーシステムは、コインロッカー製造・販売のリーディングカンパニーとして、日本で初めてコインロッカーを設置しました。また、そのノウハウを活かし、賞味期限内でありながら廃棄されてしまう売れ残りパンの販売にロッカー型自販機を活用するサービスを開発しました。



SDGsステーション横浜関内駅で販売する縁道パンの商品

〈食品ロスは炭水化物が多い〉

国内における食品ロスの現状として、半数が「事業系食品ロス」で可食部分の食品ロスの割合はパンや麺を含む炭水化物が大きなウエイトを占めています。

パン屋さんでは、作ったパン全体の5～10%廃棄せざるを得ないという状況で、パンは廃棄率が高くなっています。

〈買い手と売り手の困りごとをロッカー型自販機で解消〉

買い手は、お店が閉店してしまう夜間にはパンをなかなか購入できない。売り手側は、毎日売れ残りが発生して、廃棄はもったいない。そこを、ロッカー型自販機を介して食品ロスになるかもしれない売れ残りパンと消費者をつなげる取組を思いつきました。

ロッカー型自販機を導入すると、売り手は売れ残りパンを閉店後に販売可能となり、廃棄を減らすことができました。買い手にはパンがお得な価格で、閉店後の夜間の時間帯にも購入できるメリットが生まれました。



SDGsステーション横浜関内



みなとみらい線馬車道駅



横浜銀行アイスアリーナ

〈オール横浜でこれからも事業展開〉

横浜に本社を持つ株式会社アルファロッカーシステムが、地元のパン屋さんと協力して市内に食品ロス削減ロッカーを設置し、事業を開始しました。ロッカー1台で様々な店の商品を販売できる利点を活用し、ロッカーの活躍の場と食品ロス削減の活動を、地元の店と連携して、オール横浜でこれからも広めていきたいと考えています。

●表彰時の写真

(左) 代表取締役社長

和田 寿成 様

(右) 営業部 担当部長

三木 正造 様



ロッカー型自販機事業に
携わった皆様